

令和7年度
京都大学
一般選抜
学生募集要項



令和6年12月

—京都大学の基本理念—

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、教育の基本理念として以下のとおり定めています。

- 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
- 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

—京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）—

【学士課程】

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う多様な人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探究し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。

このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、本学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる多様な人々を国内外から広く受け入れます。

受入れにおいては、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがい、入学者を選抜します。一般選抜では、教科・科目等を定めて、大学入学共通テストと個別学力検査の結果を用いて基礎学力を評価します。特色入試では、書類審査と各学部が定める方法により、高等学校での学修における行動や成果、個々の学部・学科の教育を受けるにふさわしい能力と志を評価します。

未来の京大生へ

京都大学は2022年6月に創立125年を迎えました。創立以来、京都大学は日本を代表する研究型大学として「自由の学風」の伝統の下、多様な独創的研究を展開するとともに、「対話を根幹とした自学自習」を重視した教育によって、各界で活躍する多くの卒業生を送り出しています。

みなさんはこれまで、高校の教育課程のなかで一生懸命努力され、多くの基礎知識を習得してこられたことと思います。大学ではいよいよ自ら考え、課題を見出し、答えを導き出す方法を学びながら、アイデンティティを確立していくことになります。その中でみなさんは多くの全く新しい「出会い」—友人や先生達、書物、或いは出来事—を経験することになるでしょう。それらを契機として、まだ自分の中で眠っているかもしれない本当の自分を新たに発見していく場所、それが大学であると思います。京都は1200年余りの歴史と美しく静かな景観を持ち、伝統文化や歴史遺産に囲まれ、国内外から多くの人が集まり交錯する所であり、そこには無限の出会いやチャンスが潜んでいます。京都で過ごす大学生活は、みなさんにとってきっとかけがえのないものになるはずです。



京都大学の教育の伝統は、「研究と一体化した」教育にあります。例えば、「ILASセミナー」と呼ばれる主に1年次を対象とした少人数ゼミナールでは、学生が様々な研究分野の第一線で活躍する教員と直に対話や議論を交わしながら、最先端の研究に触れつつ主体的な学びを進めていくことができます。また、外国人教員による国際教育を受けることや在学中に海外協定校へ留学することも可能です。海外で一定期間暮らすという経験は、間違いなくみなさんの新しい「自己発見」の大きなきっかけになることでしょう。

新しいことにチャレンジしたい人、新しい自分の可能性を見つけたい学生を、私たち京都大学の教職員は応援し、最大限の支援をしていきます。古都京都の地で、たくさんの知的刺激に囲まれながら、みなさんが多くの新しい仲間たちとともに豊かで創造的な大学生活を送られることを、心から期待しています。

京都大学総長 湊 長博

目 次

※特色入試については別途公表している「特色入試学生募集要項」をご覧ください。

1. 前期日程（一般選抜）	
I 入学定員・募集方法等	3
II 出願資格	5
III 入学者選抜方法等	6
IV 学部・学科の実施教科・科目及び配点等	10
V 出願手続	30
VI 入試情報開示	34
VII 障害等のある受験者に対する合理的配慮について	35
VIII 受験に関する注意事項等	36
IX 合格者発表	39
X 入学手続	39
XI 追加合格	41
XII 個人情報の取り扱いについて	41
XIII 学部・学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	42
XIV 京都大学の個別学力検査の出題方針について	50
2. その他	
I 京都大学の教養・共通教育について	57
II 過去3年間の入学試験結果の概要	58
III 修学案内	61
◎ 京都大学構内図	65
◎ 問い合わせ先	66

1. 前期日程（一般選抜）

I 入学定員・募集方法等

1. 入学定員・募集人員

特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えられます。

学部・学科		募集人員	入学定員	募集区分	
				前期日程	その他の選抜方法
総合人間学部		120	120	文系 62 理系 53	特色入試：5人
文学部		220	220	210	特色入試：10人
教育学部		60	60	文系 44 (外国人留学生のための選考若干名を含むことがある) 理系 10 (外国人留学生のための選考若干名を含むことがある)	特色入試：6人 外国人留学生のための選考：若干名
法学部		330	330	310 (外国学校出身者のための選考10人以内含む)	特色入試：20人 外国学校出身者のための選考：10人以内
経済学部		240	240	文系 190 (外国学校出身者のための選考10人以内含む) 理系 25	特色入試：25人 外国学校出身者のための選考：10人以内
理学部		311	311	301 (外国人留学生のための選考若干名含む)	特色入試：10人 外国人留学生のための選考：若干名
医学部	医学科 ※3	108	108	103	特色入試：5人
	人間健康科学科	100	100	70	【先端看護科学コース】特色入試：20人 【先端リハビリテーション科学コース (先端理学療法学講座)】特色入試：5人 【先端リハビリテーション科学コース (先端作業療法学講座)】特色入試：5人
	計	208	208	173	
薬学部 ※1	薬科学科・薬学科	80	80	74	【薬科学科】 特色入試：3人 【薬学科】 特色入試：3人
工学部 ※2	地球工学科 建築学科 物理工学科 電気電子工学科 情報学科 理工化学科	955	955	918 (別表2のとおり)	【地球工学科】 特色入試：4人 国際コースのための選考：30人以内 【建築学科】 特色入試：3人 【物理工学科】 特色入試：5人 【電気電子工学科】 特色入試：7人 【情報学科】 特色入試：3人 【理工化学科】 特色入試：15人 【各学科】 外国人留学生のための選考：若干名
農学部 ※2	資源生物科学科 応用生命科学科 地域環境工学科 食料・環境経済学科 森林科学科 食品生物科学科	300	300	277 (別表3のとおり)	【資源生物科学科】 特色入試：3人 【応用生命科学科】 特色入試：4人 【地域環境工学科】 特色入試：3人 【食料・環境経済学科】 特色入試：3人 【森林科学科】 特色入試：7人 【食品生物科学科】 特色入試：3人
合計		2,824	2,824	2,647	

※1 薬学部の学科振り分けは、本人の志望や学業成績等に基づいて、別表1のとおり4年次進級時に行われます。

※3 医学部医学科の入学定員は、令和6年度まで臨時的に増員（105人から107人）が認められていました。令和7年度については、文部科学省から入学定員の増員（105人から108人）が認可されました。

別表1

学部・学科等	学科振り分け定員
薬学部	薬科学科 65 (特色入試入学者3人を含む)
	薬学科 15 (特色入試入学者3人を含む)

※2 工学部と農学部は、別表2と別表3のとおり、受入学生数を目安として学科別に合格者を決定します。

別表2

学部・学科等	受入学生数（目安）
工学部	地球工学科 181 (国際コースのための選考30人以内含む)
	建築学科 77
	物理工学科 230
	電気電子工学科 123
	情報学科 87
	理工化学科 220

別表3

学部・学科等	受入学生数（目安）
農学部	資源生物科学科 91
	応用生命科学科 43
	地域環境工学科 34
	食料・環境経済学科 29
	森林科学科 50
	食品生物科学科 30

工学部は学科を第2志望まで選択することができます。
各学科においては、外国人留学生のための選考若干名を含みます。

農学部は学科を第6志望まで選択することができます。

2. 試験実施方式・日程

- (1) 本学は、分離分割方式による前期日程で試験を実施します。
- (2) 本学も含め全ての国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）の学校推薦型選抜又は総合型選抜合格者は、当該選抜を実施する大学・学部の定める入学辞退手続きにより入学の辞退を許可された場合を除いて、本学個別学力検査等を受験しても合格者となりません。
※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学については、公立大学協会 Web サイトを参照のこと。
(<https://www.kodaikyo.org/>)
- (3) 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。
- (4) 主な日程

インターネット出願登録・ 入学検定料納入期間	令和7年1月20日（月）～2月5日（水）
出願書類受理期間	令和7年1月27日（月）～2月5日（水）
第1段階選抜合格者発表	2月12日（水）送付予定
試験実施日	2月25日（火）・26日（水）・27日（木） （27日は医学部医学科の面接のみ実施）
合格者発表	3月10日（月）正午
入学手続	3月14日（金）午後5時 必着

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

3. 募集方法及び合格者の決定方法等

- (1) 総合人間学部、教育学部、経済学部は、「文系」試験及び「理系」試験に分けて募集し、合格者を決定します。
- (2) 医学部は、学科別に募集し、合格者を決定します。
- (3) 薬学部は、薬科学科と薬学科を合わせた学部単位で募集（両学科一括募集）し、合格者を決定します。
- (4) 工学部は、学部として募集しますが、受入学生数を目安として学科別に合格者を決定します。
なお、第1～第2志望まで学科を選択することができることとし、成績及び志望順位に基づき合格者を決定します。
- (5) 農学部は、学部として募集しますが、受入学生数を目安として学科別に合格者を決定します。
なお、第1～第6志望まで学科を選択することができることとし、成績及び志望順位に基づき合格者を決定します。

II 出願資格

次のいずれかに該当する者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて受験を課す教科・科目（10～29ページに記載した各学部の「大学入学共通テストの利用教科・科目名」欄参照）のすべてを受験した者。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号—大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定—）
7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの
8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの（下記【個別入学資格審査の申請方法等】参照）

【個別入学資格審査の申請方法等】

上記の出願資格8.により出願を希望する者は、事前に個別の入学資格審査を申請してください。審査の結果、資格を認定された場合のみ出願が認められます。

なお、出願資格1.～7.により出願を希望する者は、入学資格審査を申請する必要はありません。

1. 入学資格認定の申請対象者

出願資格8.として申請可能な者は、学校教育法施行規則第150条第7号に該当する者で、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する又は有する見込みのものです。ただし、令和7年度大学入学共通テストを受験した者に限ります。

2. 申請書類

- ① 入学資格認定申請書（本学所定の様式）
- ② 出身教育施設の修了（又は修了見込み）証明書
- ③ 出身教育施設の規則等
- ④ 出身教育施設のカリキュラム（修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）
- ⑤ 返信用封筒（長形3号封筒に申請者の住所・氏名を明記して、760円分（簡易書留速達料金）の切手貼付）

3. 申請受理期間

令和7年1月20日（月）から1月22日（水）[必着]

大学入学共通テスト出願の際、他大学の入学資格認定を受けた者で、その後本学に志望を変更する者に限り、申請を受理します。「簡易書留速達」で「入学資格認定申請書類在中」と朱書のうえ、郵送してください。なお、提出された書類は一切返却しません。

4. 審査方法

申請者から提出された入学資格認定申請書及び出身教育施設の修了（又は修了見込み）証明書等に基づき審査します。

5. 認定基準

認定の基準は、専修学校高等課程の修了者に入学資格を認める基準を準用し、各教科の修得単位数等について、原則として次に掲げる条件を満たした教育を行う施設で当該教育を修了していること、又は修了する見込みであること。

※単位については、1単位時間を50分とする。

- (1) 修了に必要な総単位時間数は、2,590単位時間以上とする。
- (2) 修了に必要な普通教科の総単位時間数は、420単位時間以上とする。
普通教科は国語（日本語）、地理歴史、公民、数学、理科、外国語とする。
- (3) 前項の教科以外の履修が、前項の教科と同様の成果が期待できる場合においては、その教科の履修をもって、前項の教科の一部又は全部に替えることができる。

6. 認定について

審査の結果、入学資格認定者には認定書を交付します。認定書を一度交付された場合、再度申請する必要はありません。

7. 提出先・照会先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育推進・学生支援部入試企画課 TEL：075-753-2521

※申請予定者は申請前に必ず連絡してください。

Ⅲ 入学者選抜方法等

入学者選抜は、大学入学共通テストの成績、一般選抜個別学力検査（以下、「個別学力検査」と省略）等の成績及び調査書を資料とし、各学部判断基準により総合して判定します。

学力検査等の成績判定は、大学入学共通テストの成績を10～29ページに記載した各学部の「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄の配点に換算したうえ、これと個別学力検査等の成績とを総合して行います。

なお、大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

1. 2段階選抜

入学志願者が募集人員を大幅に上回り、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合には、大学入学共通テストの成績等により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、各学部において10～29ページに記載した各学部の「(注2)「個別学力検査等」について」欄の「第1段階選抜について」に掲載の方法により、それぞれ第1段階選抜合格者を決定し、個別学力検査等を行います。

【第1段階選抜合格者発表】

第1段階選抜結果の発表は、掲示にはならず、次の方法により志願者に通知します。

(1) 第1段階選抜を実施した場合は、その合格者には個別学力検査等の受験票を送付します。不合格者には不合格通知書を送付します。

第1段階選抜を実施しなかった場合は、志願者全員に受験票を送付します。

(2) 第1段階選抜結果の通知は、2月12日（水）頃に各学部から速達で発送する予定です。

なお、2月17日（月）を過ぎても到着しないときは、出願した学部の教務担当（66ページ参照）へ問い合わせてください。

2. 個別学力検査等実施場所

個別学力検査等は、吉田キャンパス（京都市左京区）で行う予定です。（場所等は65ページ参照）ただし、志願者数により、上記以外の場所で行うこともあります。個別学力検査等の実施場所、経路の詳細は、受験票発送時にお知らせします。

※本学では、志願者に対する宿泊施設等のあっせんは行っておりません。

なお、京都大学生活協同組合において宿泊案内を行っております。（<https://www.s-coop.net/>）

3. 個別学力検査等実施期日・時間

個別学力検査等実施期日・時間は、8ページのとおりです。

4. 入学者選抜の実施教科・科目等

入学者選抜の実施教科・科目等は、10～29ページのとおりです。

なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査の教科名は、以下のように略しています。

国語→国、地理歴史→地歴、数学→数、理科→理、外国語→外、情報→情

【注意】大学入学共通テストの成績利用の方法について

大学入学共通テストの「地理歴史、公民」及び「理科」について1科目が課されている場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

第1解答科目が学部の指定した利用教科・科目でない場合は、出願資格を無資格としますので、注意してください。

5. 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜(前期日程)における旧教育課程履修者に対する経過措置については、次のとおりとします。なお、本経過措置は令和7年度限りの措置とします。

(1) 令和7年度入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける経過措置科目について

旧教育課程履修者は、地理歴史、公民、数学、情報の教科において経過措置として出題される以下の経過措置科目を選択できるようにします。

なお、「旧教育課程履修者」は、大学入試センターの定義するところにしたがい、下記の①と②以外の者をいいます。

- ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)に令和4年4月に入学し、平成30年告示高等学校学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者
- ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示高等学校学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者

地理歴史	『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』※
公民	『旧倫理、旧政治・経済』※
数学(グループ①)	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
数学(グループ②)	『旧数学Ⅱ・旧数学B』
情報	『旧情報』

※「地理歴史、公民」については、新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできない。

(2) 個別学力検査における経過措置について

平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程と平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程との間で学習指導要領による扱いが異なる事項について、出題にあたり必要に応じた配慮をします。

個別学力検査等実施期日・時間

学部		日程等		2月25日(火)				2月26日(水)				2月27日(木)	
		教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間		
総合人間学部	文系	国語	9時30分 ～ 11時30分	数学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分	/			
	理系	国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理科	13時30分 ～ 16時30分				
文学部		国語	9時30分 ～ 11時30分	数学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分	/			
教育学部	文系	国語	9時30分 ～ 11時30分	数学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分				
	理系	国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理科 (1科目)	15時00分 ～ 16時30分				
法学部		国語	9時30分 ～ 11時30分	数学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分	/			
経済学部	文系	国語	9時30分 ～ 11時30分	数学	13時30分 ～ 15時30分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分				
	理系	国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	/					
理学部		国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分			理科	13時30分 ～ 16時30分		
医学部	医学科	国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理科	13時30分 ～ 16時30分	面接	9時00分 ～ 17時30分		
	人間健康科学科	国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理科	13時30分 ～ 16時30分	/			
薬学部		国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理科	13時30分 ～ 16時30分				
工学部		国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理科	13時30分 ～ 16時30分	/			
農学部		国語	9時30分 ～ 11時00分	数学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理科	13時30分 ～ 16時30分				

IV 学部・学科の実施教科・科目及び配点等

【総合人間学部】

◇募集人員115人（前期日程：文系62人・理系53人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
文系	国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	*	50		*	100	*	25	175
	地歴	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』	地歴	地理探究 日本史探究 世界史探究			150	100		200		200		650
	公民	『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 (注1) 1. 参照	数	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B, 数学C		計	150	150		200	100	200	25	825
理系	数	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語	約3.5倍	共通テスト	*	100		*	*	*	25	125
	理	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 (注1) 2. 参照	理	物理 化学 生物 地学			150			200	200	150		700
	外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語		計	150	100		200	200	150	25	825
情	『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕または 〔7教科8科目〕													
理系	国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	*	100		*	*	*	25	125
	地歴	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』	数	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C			150			200	200	150		700
	公民	『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 (注1) 1. 参照	理	物理 化学 生物 地学		計	150	100		200	200	150	25	825
理系	数	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語	約3.5倍	共通テスト	*	100		*	*	*	25	125
	理	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	理	物理 化学 生物 地学			150			200	200	150		700
	外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語		計	150	100		200	200	150	25	825
情	『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕													

〔注1〕「大学入学共通テスト」について

- 文系の「地理歴史、公民」について、『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組み合わせを選択することはできません。また、理系の「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 文系の「理科」について、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。

3. 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。

『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。

また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

1. 「国語」について

国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。

2. 「地理歴史」について

大学入学共通テストで受験した科目と同一名称を含む科目を選択することができます。

3. 「数学」について

文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の5科目を併せて「数学」として出題します。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」から出題します。

理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

4. 「理科」について

(1) 大学入学共通テストで受験した科目と同じ科目を選択することができます。

(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

5. 「外国語」について

英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。

6. 第1段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分において、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）3.のとおり換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

学力検査等の区分	第1段階選抜の配点等								
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
文系	共通テスト	200	200		200	100	200	50	950
理系		200	100		200	200	200	50	950

〔注3〕「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」について

大学入学共通テストで課す*印の付いた教科の得点は、他の教科と併せて第1段階選抜のための得点対象としますが、個別学力検査等の得点対象としません。

【文学部】

◇募集人員 210 人（前期日程：210 人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(15)	250 (265)
地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	地歴	地理探究 日本史探究 世界史探究										
公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 (注1) 1. 参照	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C		から2	個別学力検査	150	100	100	150	500		
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語	から1									
理	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注1) 2. 参照				計								750
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』												
情	『情報Ⅰ』												
〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕													

※文学部の試験成績は、大学入学共通テストの成績（合計の265点満点を250点満点に換算）と個別学力検査の成績（500点満点）とを総合（750点満点）して算出します。

〔注1〕「大学入学共通テスト」について

- 「地理歴史、公民」について、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組み合わせを選択することはできません。
- 「理科」について、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。
- 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。
また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「国語」について
国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。

2. 「地理歴史」について

大学入学共通テストで受験した科目と同一名称を含む科目を選択することができます。

3. 「数学」について

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の5科目を併せて「数学」として出題します。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）3.のとおり換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜の配点等								
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
共通テスト	200	200	200	100	200	100	1000	

【教育学部】

◇募集人員54人（前期日程：文系44人・理系10人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

※外国人留学生のための選考若干名を含むことがあります。

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報
文系	国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	50	50	50	50	50	15	265
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	地歴	地理探究 日本史探究 世界史探究									
	公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 (注1) 1.参照	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C			個別学力検査	200	100		150		200
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語	から1	計	250	150	200	50	250	15	915	
理	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 2.参照												
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』			から1									
情	『情報Ⅰ』												
		〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕											
理系	国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	50	50	50	50	50	15	265
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C									
	公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 (注1) 1.参照	理	物理 化学 生物 地学		から1	個別学力検査	150			200	100	200
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語	から1	計	200	50	250	150	250	15	915	
理	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』			から2									
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』			から1									
情	『情報Ⅰ』												
		〔6教科8科目〕											

〔注1〕「大学入学共通テスト」について

1. 文系の「地理歴史、公民」について、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組み合わせを選択することはできません。また、理系の「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。

2. 文系の「理科」について、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。
3. 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。
また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

1. 「国語」について
国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。
2. 「地理歴史」について
大学入学共通テストで受験した科目と同一名称を含む科目を選択することができます。
3. 「数学」について
文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の5科目を併せて「数学」として出題します。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」から出題します。
理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。
4. 「理科」について
(1) 大学入学共通テストで受験した科目と同じ科目を選択することができます。
(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
(5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。
5. 「外国語」について
英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。
6. 第1段階選抜について
入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分において、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）3.のとおりの換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

学力検査等の区分	第1段階選抜の配点等								
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
文系	共通テスト	200	200		200	100	200	30	930
理系		200	100		200	200	200	30	930

【法学部】

◇募集人員 310人 (前期日程：310人)

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

※外国学校出身者のための選考 10人以内を含みます。

大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計	
国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	(200)	(200)		(200)	(100)	(200)	(50)	285 (950)	
地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	地歴	地理探究 日本史探究 世界史探究											から1
公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 (注1) 1.参照	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C											から2
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語	から1	個別学力検査	150	100		150		200		600	
理	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注1) 2.参照				計								885	
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』			から1										
情	『情報Ⅰ』													
〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕														

※法学部の試験成績は、大学入学共通テストの成績（合計の950点満点を285点満点に換算）と個別学力検査の成績（600点満点）とを総合（885点満点）して算出します。

〔注1〕「大学入学共通テスト」について

- 「地理歴史、公民」について、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組み合わせを選択することはできません。また、『歴史総合、日本史探究』と『歴史総合、世界史探究』のうちの少なくとも1科目が含まれるように、2科目を選択してください。
- 「理科」について、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。
- 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。
また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

(注2)「個別学力検査等」について

1. 「国語」について
国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。
2. 「地理歴史」について
大学入学共通テストで受験した科目と同一名称を含む科目を選択することができます。
3. 「数学」について
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の5科目を併せて「数学」として出題します。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」から出題します。
4. 「外国語」について
英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。
5. 第1段階選抜について
入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）3.のとおり換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜の配点等								
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
共通テスト	200	200	200	100	200	50		950

【経済学部】

◇募集人員 215人 (前期日程：文系190人・理系25人)

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

※「文系」は外国学校出身者のための選考10人以内を含みます。

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
文系	国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	50	50	50	50	50	50	50	300
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 } から2	地歴	地理探究 日本史探究 世界史探究 } から1										
	公民		『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 (注1) 1.参照			数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C	個別学力検査	150	100		150		150
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外		英語	計	200		150		200	50	200	50	850
理		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注1) 2.参照												
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 } から1 『中国語』 『韓国語』 (注1) 3.参照													
情		『情報Ⅰ』												
		[6教科8科目] または [7教科8科目]												
理系	国	『国語』	国	国語	約3.5倍	共通テスト	50	50	50	50	50	50	50	300
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 } から1	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C										
	公民		『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 (注1) 1.参照			外	英語	個別学力検査	150		300		200	
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』				計	200		50		350	50	250	50	950
理		『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 } から1 (注1) 1.参照												
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 } から1 『中国語』 『韓国語』 (注1) 3.参照													
情		『情報Ⅰ』												
			[6教科7科目]											

〔注1〕「大学入学共通テスト」について

1. 文系の「地理歴史、公民」について、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組み合わせを選択することはできません。また、理系の「地理歴史、公民」及び「理科」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。

2. 文系の「理科」について、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。
3. 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。
また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

(注2)「個別学力検査等」について

1. 「国語」について
国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。
2. 「地理歴史」について
大学入学共通テストで受験した科目と同一名称を含む科目を選択することができます。
3. 「数学」について
文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の5科目を併せて「数学」として出題します。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」から出題します。
理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。
4. 「外国語」について
英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。
5. 第1段階選抜について
入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分において、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）3.のとおり換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

学力検査等の区分	第1段階選抜の配点等								
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
文系	共通テスト	200	200		200	100	200	100	1000
理系		200	100		200	100	200	100	900

【理学部】

◇募集人員301人（前期日程：301人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

※外国人留学生のための選考若干名を含みます。

大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
国	『国語』	国	国語	約3.0倍	共通テスト	50	25		50	50	50	25	250
地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C										
公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 (注1) 1.参照	理	物理 化学 生物 地学		個別学力検査	150			300	300	225		975
数	『数学Ⅰ、数A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語		計	200	25		350	350	275	25	1225
理	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』												
外	『英語』												
情	『情報Ⅰ』												
〔6教科8科目〕													

〔注1〕「大学入学共通テスト」について

- 「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「国語」について
国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。
- 「数学」について
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

3. 「理科」について

- (1) 大学入学共通テストで受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- (2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）2.のとおり換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜の配点等								
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
共通テスト	200	100		200	200	200	100	1000

【医学部】

◇募集人員 173 人（前期日程：医学科 103 人、人間健康科学科 70 人）

※特色入試において最終的な入学手続き数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えられます。

学科名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科等	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計	
医学科	国	『国語』	国	国語	(注2) 6.(1) 参照	共通テスト	50	50		50	50	50	25		275	
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 } から1	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C		個別学力検査	150			250	300	300			(注2) 5. 参照	1000
	公民		理	物理 } から2 化学 } 生物 }		計	200	50		300	350	350	25		(注2) 5. 参照	1275
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語 } から1 ドイツ語 } フランス語 } 中国語 }	その他	面接(注2) 5. 参照											
理	『物理』 } から2 『化学』 } 『生物』 }															
外	『英語』 } から1 『ドイツ語』 } 『フランス語』 } 『中国語』 } 『韓国語』 }															
情	『情報Ⅰ』															
	〔6教科8科目〕															
人間健康科学科	国	『国語』	国	国語	学科募集人員の約3.5倍	共通テスト	50	50		50	50	50	25		275	
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 } から1	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C		個別学力検査	150			200	200	200			750	
	公民		理	物理 } から2 化学 } 生物 }		計	200	50		250	250	250	25		1025	
数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語													
理	『物理』 } から2 『化学』 } 『生物』 }															
外	『英語』 } から1 『ドイツ語』 } 『フランス語』 } 『中国語』 } 『韓国語』 }															
情	『情報Ⅰ』															
	〔6教科8科目〕															

〔注1〕「大学入学共通テスト」について

- 「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を utilizes。
- 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。
また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

1. 「国語」について

国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。

2. 「数学」について

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

3. 「理科」について

- (1) 大学入学共通テストで受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- (2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 「面接」について

医学科：面接試験では、「医学部医学科が望む学生像」（【学部・学科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】参照）に記載されている医師・医学研究者としての適性・人間性などについて評価を行い、学科試験の成績と総合して合否を判定しますので、学科試験の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。

調査書は、志願者個人を特定するような情報及び属性に関する情報（氏名・性別・住所等）を除き、面接の参考資料にします。

高等学校卒業後5年以上で調査書の記載がないもの、記載内容が不明確なもの、あるいは、疑義のあるものなどは、別途指定した書類の提出を卒業学校等へ依頼することがあります。

また、面接の参考資料とするため、個別学力検査受験者全員から、受験に至るまでの経緯・志望理由などを記載した書類の提出を求めます。本学科所定用紙を受験票に同封して送付しますので、到着後速やかに確認して、作成のうえ、指示にしたがって提出してください。

6. 第1段階選抜について

- (1) 医学科は、利用する大学入学共通テスト6教科8科目の得点（ただし、『英語』は（注1）2.のとおり換算）の合計が1000点満点中700点以上の者のうちから、募集人員の約3倍までの者を総得点の順位に従って第1段階選抜の合格者とします。
- (2) 人間健康科学科は、入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）2.のとおり換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

学力検査等の区分	第1段階選抜の配点等								
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
医学科	共通テスト	200	100		200	200	200	100	1000
人間健康科学科		200	100		200	200	200	100	1000

【薬学部】

◇募集人員 74 人（前期日程：74 人）

※薬学部は、薬科学科（修業年限 4 年、薬剤師国家試験受験資格なし）と薬学科（修業年限 6 年、薬剤師国家試験受験資格あり）を合わせた学部単位での募集（両学科一括募集）を行います（詳細は 3 ページの「1. 入学定員・募集人員」を参照のこと）。

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

学科名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
薬科学科・薬学科	国	『国語』	国	国語	学部募集人員の約 3.5 倍	共通テスト	40	40		40	40	40	20	220
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C		個別学力検査	100			200	200	200		700
	公民													
	数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語										
理	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』													
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』													
情	『情報Ⅰ』													
		[6教科8科目]				計	140	40		240	240	240	20	920

（注1）「大学入学共通テスト」について

- 「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。
また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

（注2）「個別学力検査等」について

- 「国語」について
国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。
- 「数学」について
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

3. 「理科」について

- (1) 大学入学共通テストで受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- (2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）2.のとおり換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜の配点等								
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
共通テスト	200	100		200	200	200	50	950

【工学部】

◇募集人員 918 人（前期日程（受入学生数）：地球工学科 181 人、建築学科 77 人、物理工学科 230 人、電気電子工学科 123 人、情報学科 87 人、理工化学科 220 人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

※各学科においては、外国人留学生のための選考若干名を含みます。

※地球工学科においては、外国人留学生を対象とした国際コースのための選考 30 人以内を含みます。

	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
全 学 科 共 通	国	『国語』	国	国語	学部募集人員の約 3.0 倍	共通テスト	25	50	25	25	50	50		225
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 } から 1	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ、数学Ⅵ、数学Ⅶ、数学Ⅷ、数学Ⅷ、数学Ⅷ										
	公民		理	物理 化学		計	125	50	275	275	250	50	1025	
数	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』 『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ、数学Ⅵ、数学Ⅶ、数学Ⅷ、数学Ⅷ、数学Ⅷ』	外	英語											
理	『物理』 (必ず選択すること) 『化学』 } から 1 『生物』													
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 } から 1 『中国語』 『韓国語』													
情	『情報Ⅰ』													
		[6教科8科目]												

【注1】「大学入学共通テスト」について

- 「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）で利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算して利用します。
また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

【注2】「個別学力検査等」について

- 「国語」について
国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として出題します。
- 「数学」について
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学Ⅳ」、「数学Ⅴ」、「数学Ⅵ」の6科目を併せて「数学」として出題します。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学Ⅳ」は全範囲から、「数学Ⅴ」は「数列」から、「数学Ⅵ」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

3. 「理科」について

- (1) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (2) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

工学部全体の入学志願者が工学部募集人員の約3.0倍を上回った場合、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点の合計により、工学部全体の入学志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜の配点等								
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
共通テスト	200	100		200	200	200	100	1000

6. その他

第1～第2志望まで学科を選択することができます。

【農学部】

◇募集人員 277 人（前期日程（受入学生数）：資源生物科学科 91 人、応用生命科学科 43 人、
 地域環境工学科 34 人、食料・環境経済学科 29 人、森林科学科 50 人、食品生物科学科 30 人）
 ※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は
 前期日程の募集人員に加えます。

	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階 選抜	試験の 区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報
全 学 科 共 通	国	『国語』	国	国語	学部募集 人員の 約 3.5 倍	共通 テスト	70	100	50	50	50	30	350
	地歴	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	数	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数 学A、数学B、数学C									
	公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 （注1）1.参照	理	物理 化学 生物 地学		計	170	100	250	250	250	30	1050
	数	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語									
理	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』												
外	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』												
情	『情報Ⅰ』												
	〔6教科8科目〕												

（注1）「大学入学共通テスト」について

- 「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を uses。
- 「外国語」の成績については、以下のとおり利用します。
 『英語』は、200点満点（リーディング100点満点、リスニング100点満点）をリーディングは150点満点に、
 リスニングは50点満点になるように換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点
 を0点として取り扱います。リスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように
 換算して利用します。
 また、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点満点で利用します。

（注2）「個別学力検査等」について

- 「国語」について
 国語は「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を併せて「国語」として
 出題します。
- 「数学」について
 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。
 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から、「数学B」は「数列」から、「数学C」は「ベクトル」、
 「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

3. 「理科」について

- (1) 大学入学共通テストで受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- (2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

農学部全体の入学志願者が農学部募集人員の約3.5倍を上回った場合、大学入学共通テストの利用教科・科目の得点（ただし、『英語』は（注1）2.のとおり換算）の合計により、農学部全体の入学志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜の配点等								
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
共通テスト	200	100		200	200	200	100	1000

6. その他

第1～第6志望まで学科を選択することができます。

V 出 願 手 続

出願手続は、出願書類受理期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。不備のないよう注意してください。

1. 出願手順

(1) 事前準備

①インターネットに接続されたパソコン等の準備

ご家庭にない場合は、学校や図書館など自宅外のパソコンからも出願できます。

②プリンタの準備

インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベル及び志願票・写真票を印刷するために必要です。

③必要書類の準備（32ページ [3. 出願に要する書類等] 参照）

④角形2号（角2）封筒（240mm×332mm）の準備

出願に必要な書類を送付するため、市販の角形2号（角2）封筒を準備してください。

(2) インターネット出願システムに登録する（1月公開予定）

インターネット出願システムのページには、京都大学一般選抜Webサイトからアクセスできません。

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/undergrad/bosyuu>

※出願システムに登録したメールアドレスは、合格発表後の入学手続においても使用します。

出願後にメールアドレスを削除する等メールが受信できない状態になると入学手続ができなくなりますので、注意してください。

(3) 出願登録

画面の案内に従って、志望情報、志願者個人情報を入力します。

(4) 出願内容の確認

登録した内容を確認してください。内容に間違いがある場合は、「変更」ボタンを押して修正してください。

(5) 入学検定料等納入方法の選択（決済情報入力）

画面の指示に従って、入学検定料等の納入方法を選択してください。納入方法として「クレジットカードで支払う」もしくは「コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで支払う」のどちらかを選択できます。

※出願登録の際に必要な料金は以下のとおりとなります。

①入学検定料（17,000円）

②受験票等送付料（410円（医学部医学科は480円））

③試験成績送付料（424円）※希望者のみ。詳細は34ページ参照。

以上①～③の料金の他に支払い手数料*が必要となります。

*最終的な料金はインターネット出願システム画面で確認してください（今年度は650円を予定）。

※出願書類を受理した後は、31ページ[※検定料の返還について]のア、イに該当する場合を除き、いかなる理由があっても納入済みの入学検定料は返金しませんので注意してください。

※入学検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので、注意してください。

(6) 宛名ラベル及び志願票・写真票を印刷する

出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷してください。

※出願登録完了後に発行される出願番号は、入学手続で使用します。出願番号は出願登録完了画

面や「出願登録完了のお知らせ」のメールに記載されますので、大切に保管してください。

(7) 必要書類の郵送

宛名ラベルを貼り付けた封筒に必要書類を封入し、必ず「簡易書留速達」で郵送してください。

なお、いかなる理由があっても持参による出願は、一切受け付けませんので注意してください。

2. 入学検定料等の納入方法等

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

詳しい支払い方法については、出願をする際に、インターネット出願システム上の「入学検定料の支払方法について」の項目を確認してください。

① クレジットカード

クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。お支払いされるカードの名義人は、志願者本人でなくても構いません。

② コンビニエンスストア

現金での支払いとなります。コンビニエンスストア（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ）で支払いが可能です。

③ 金融機関 ATM 【Pay-easy】

金融機関でPay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。支払い可能金融機関は、下記 URL の「ATM 利用可能一覧」を確認してください。

<https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html>

④ ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay 銀行、au じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

※検定料の返還について（手続には時間を要しますので予めご了承ください）

ア. 第 1 段階選抜不合格者及び出願無資格者

検定料の一部（13,000 円）を返還します。不合格通知書又は出願無資格通知書を送付する際に、返還手続方法について連絡します。

イ. 検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合および誤って二重に納入した場合

検定料の全額（17,000 円）及び受験票等送付料（410 円（医学部医学科は 480 円））を返還します。

検定料の返還を希望する旨を明記のうえ、①志願者氏名、②志願者カナ氏名、③郵便番号、④住所、⑤電話番号、⑥検定料の納入方法、⑦納入した金融機関名及び支店名又はコンビニエンスストア名及び店名を、下記までファックスにてお知らせください。記載の住所へ返還手続書類を郵送しますので、それに従って手続をしてください。

ウ. 連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育推進・学生支援部入試企画課

TEL : 075-753-2521 FAX : 075-753-2565

以下の災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、入試企画課（TEL : 075-753-2521）へ問い合わせてください。

①東日本大震災（平成 23 年 3 月）、②熊本地震（平成 28 年 4 月）、③平成 30 年 7 月豪雨、④北海道胆振東部地震（平成 30 年 9 月）、⑤令和元年台風第 19 号、⑥令和 2 年 7 月豪雨、⑦令和 6 年能登半島地震

3. 出願に要する書類等

市販の封筒（角2サイズ 240mm×332mm）の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての必要書類を封入し郵送してください。

<p>① 志願票・写真票</p>	<p>インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。なお、以下の点に留意して提出ください。</p> <p>【志願票】 必ず、所定の欄の枠内に大学入試センターから交付を受けた有効な令和7共通テスト成績請求票「前国公立前期日程用」を貼り付けてください。（成績請求票を提出しない場合は、出願書類は受理しません。）</p> <p>【写真票】 上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4cm×横3cm）を枠内に貼り付けてください。 *おって、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるの で、あらかじめ同じ写真をもう1枚準備しておいてください。 *写真は証明写真を使用してください。自分で印刷する場合は、証明写真用紙に印刷してください（普通紙に印刷した写真は不可）。</p>
<p>② 調査書</p>	<p>文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 *調査書が得られない場合は、以下に記載の【調査書に代えることができる書類について】を参照してください。</p> <p><学校関係者の方へ> ・令和元年度以前卒業生の調査書は従前の様式をご使用いただいて問題ありません。 ・印刷の出力形式については、A3用紙でも問題ありません。</p>
<p>③ 入学資格認定書（写） （該当者のみ）</p>	<p>5ページの「Ⅱ 出願資格 8.」により、本学に入学資格認定の申請をし、認定を受けた者は、本学交付の入学資格認定書の写しを必ず提出してください。</p>

【調査書に代えることができる書類について】

- (1) 指導要録の保存期間が経過した者、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、「卒業証明書」及び「成績証明書」を提出してください。成績証明書等を提出できない場合は、「卒業証明書」に加えて学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。
- (2) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）合格者は、「合格成績証明書」（合格証明書は不要）を提出してください。ただし、高等学校等において科目を履修したことにより受験科目を一部免除された場合は、免除された科目の高等学校等の調査書又は「成績証明書」を添えてください。成績証明書を提出できない場合は、学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。
- (3) 上記（1）および（2）以外の者は、「修了証明書（資格証明書）」及び「成績証明書」を提出してください（コピー不可）。

【注意事項】

- (1) 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
- (2) 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。
- (3) 出願書類の受理後は、出願書類を返却しません。
- (4) 現在、大学等に在学している者は、受験に際して受験許可書や退学証明書は必要ありません。
ただし、本学に入学する際は、3月31日までに退学し、入学予定学部の教務担当（66ページ参照）に退学証明書を速やかに提出してください。

4. 出願期間および入学検定料納入期間

インターネット出願の登録期間および入学検定料納入期間

令和7年1月20日（月）午前10時から2月5日（水）午後5時まで

出願書類受理期間

令和7年1月27日（月）から2月5日（水）午後5時（必着）まで

- ・インターネット出願登録期間及び入学検定料納入期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類受理期間中に出願書類が本学に到着していなければなりません。(持参不可)
- ・「簡易書留速達」で郵送してください。

5. 出願状況の情報提供

- (1) 各学部の出願状況について、下記の期間中本学 Web サイト (<https://www.kyoto-u.ac.jp>) 上に情報提供を行います。(令和7年1月28日（火）午前10時頃から)
- (2) 個別の出願書類の配達状況について、本学では対応いたしかねますので、「郵便追跡サービス」(<https://www.post.japanpost.jp>) をご利用ください。

6. 受験票の送付

「受験票」及び「受験上の諸注意」等は令和7年2月12日（水）頃に速達での発送を予定しています。

なお、第1段階選抜不合格者には不合格通知書を、出願無資格者には出願無資格通知書を送付します。

2月17日（月）を過ぎても通知が届かない場合は出願した学部の教務担当（66ページ参照）へ問い合わせてください。

VI 入試情報開示

本学では、試験成績、調査書について受験者本人からの請求があれば、以下のとおり開示します。個人情報保護の観点から、代理人による開示申請は、理由の如何を問わず受け付けません。

【試験成績】

令和7年度入試の試験成績の開示を希望する者は、インターネット出願システムで試験成績送付を申し込んでください（送付料として424円が必要です）。令和7年4月下旬頃に簡易書留（親展）で郵送します。

開示する試験成績は、大学入学共通テストと受験した学部における個別学力検査等の教科別の得点（配点換算前及び換算後）及び総点です。参考として満点、合格者の最高点、最低点及び平均点を記載しています。

また、個別学力検査等の受験者本人に限り、令和7年7月1日（火）から令和7年11月28日（金）の間に、受験学部の教務担当事務室（場所は65ページ参照）において試験成績を開示します（個別学力検査等の受験票、または本人確認ができるものを持参してください）。

※試験成績送付申し込み者のうち第1段階選抜不合格者及び出願無資格者に対しては、試験成績送付料（424円）を返還します。不合格通知書等を送付する際に、返還手続方法についてもあわせてお知らせします。

【調査書】

令和7年度入試の調査書の開示を希望する者は、令和7年7月1日（火）から令和7年11月28日（金）までの間に、受験学部の教務担当事務室で申請してください。申請後1週間以内に調査書の閲覧が受験学部の教務担当事務室で可能になります。申請・閲覧ともに個別学力検査等の受験者本人に限りますので、個別学力検査等の受験票、または本人確認ができるものを持参してください。

なお、開示する調査書の内容は、不開示情報（「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄）を除いた部分となります。

《注意事項》

遠方に居住しているため、直接本学に出向くことが困難な場合は、郵送にて請求を受け付けますので、必ず受験学部の教務担当事務室（66ページ参照）に連絡のうえ、請求してください。

Ⅶ 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本学では、障害等のある受験希望者からの入学試験における合理的配慮の提供に関する申請を常時受け付けています。下記の様式（受験上の配慮申請書）を用いて、志望する学部の教務担当（66ページ参照）へ連絡してください。申請時点で志望学部が決まっていない場合は、志望する可能性のある学部のそれぞれの教務担当へ連絡してください。

申請の内容によっては対応に時間を要することがありますので、原則として12月16日（月）までに連絡してください。また、それ以降に不慮の事故等で申請が必要となった場合は、できるだけ早く志望する学部の教務担当へ連絡してください。

（様式）A4判縦

受験上の配慮申請書

令和 年 月 日

京都大学〇〇学部長 殿

氏名（ふりがな）・性別・生年月日

連絡先（住所・電話番号・メールアドレス等）

出身学校名・卒業/卒業見込み年月（高卒認定の場合、
認定試験合格/合格見込み年月）

試験当日の保護者等緊急連絡先（電話番号）

京都大学〇〇学部に入学を志願したいので、下記のとおり申請します。

記

1. 志望する学部・学科、受験科目
2. 障害等の種類、程度
3. 受験上希望する配慮事項
4. 添付書類（上記2、3の根拠となる資料を添付してください。以下に資料の例を示します。いずれの資料も写しで構いません。）
 - ・医師の診断書
 - ・検査結果、所見
 - ・障害者手帳
 - ・大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書
 - ・これまでの教育機関における配慮事項
 - ・日常生活の状況 などその他、参考になる資料があれば、添付してください。

※本学では、受験上の配慮とともに、修学上の配慮に関する相談も受け付けています。修学上の配慮について、受験上の配慮とあわせて相談する場合は、希望する配慮事項を別紙（A4判縦、様式自由）に記載して、上記様式に添付してください。修学上の配慮に関する相談は、合格発表後あるいは入学後でも構いませんが、対応に時間を要することがありますので、できるだけ早く学部の教務担当に連絡してください。

※個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

VIII 受験に関する注意事項等

1. 受験に関する注意事項等は、個別学力検査等の前日午後までに、出願した学部において掲示しますので、必ず確認しておいてください（詳細は受験票に同封する書類を参照）。
2. 来場にあたっては、公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って行動するようお願いいたします。自家用車・タクシー等の試験場付近での乗降（駐停車）は、深刻な交通渋滞を招きますのでご遠慮ください（事前に許可された場合は除く）。
また、公共交通機関以外での送迎で、渋滞による遅刻が生じた場合には、本人の責めに帰す遅刻理由となり、救済措置が行われません。
3. 個別学力検査等当日は、**個別学力検査等の受験票及び大学入学共通テストの受験票を必ず持参してください。**（入学手続の際にも両方の受験票が必要になります。）
4. 個別学力検査等当日は、各学部の指示する時刻及び場所に集合してください。ただし、医学部医学科の**面接試験の集合時刻・場所**については、受験票送付時に**別途通知**します。
5. 試験開始時刻に遅れた場合は、各教科等とも**試験開始後30分以内**に限り入室を認めます。ただし、医学部医学科の**面接試験の控え室への入室限度時刻**については、受験票送付時に**別途通知**しますので注意してください。
6. 各試験室に設置している電波時計により試験時間の確認は可能です。時計（腕時計・置時計等）は、試験室に入る前にかばんにしまってください。

7. 試験時間中に**机の上に置けるもの**

試験時間中に机の上に置けるものは、次のとおりです。

机の上に置けるもの	留意事項
京都大学受験票 大学入学共通テスト受験票	
黒鉛筆・シャープペンシル ・鉛筆キャップ・消しゴム	和歌・格言等が印刷されているものは不可。
鉛筆削り（小型）	電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。
ハンカチ・タオル	漢字、英文字や地図等がプリントされているものは不可。
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけを取り出したものに限る。
マスク	漢字、英文字や地図等がプリントされているものは不可。 マスクを着けたり外したりすることは構わない。
眼鏡	眼鏡をかけたり外したりすることは構わない。 情報端末としての機能を有するもの（スマートグラス等）は、8.の「試験時間中に使用できないもの（1）（不正行為失格となるもの）」に含まれる。
目薬	成分表示等の文字が見えないようにマスキングテープ等で隠しているものに限る。

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

なお、コート（必ずボタンをかけること）・手袋（多汗症用を含む）・座布団・クッション・ひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む）・カイロで漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

8. 試験時間中に使用できないもの

7. の「試験時間中に机の上に置けるもの」以外の物品は使用できません。以下に「試験時間中使できないもの」の一例を示します。

- (1) **不正行為失格となるもの**（使用したり、机の上に置いていたり、衣服の中も含めて身につけていたり、手に持っていたりした場合）

不正行為失格となるもの	留意事項
携帯電話・スマートフォン ・ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス等） ・タブレット端末 ・電子辞書・ICレコーダー ・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類	試験室に入る前に必ず電源を切って、かばんにしまってください。 なお、試験時間中にかばんの中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばんを持ち出し、試験事務室で当該試験終了まで保管します。 <u>イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為失格となります。</u> （試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請（35ページ参照）が必要です。）

- (2) **不正行為となることがあるもの**（使用したり、机の上に置いていたり、衣服の中も含めて身につけていたり、手に持っていたりした場合）

不正行為となることがあるもの（主なもの）	留意事項
時計（腕時計・置時計等）	<u>時計については、衣服の中も含めて身につけているだけで不正行為失格となることがあります。</u> 情報端末としての機能を有するもの（スマートウォッチ等）は、8. の「試験時間中に使用できないもの（1）（不正行為失格となるもの）」に含まれます。
定規・コンパス・電卓等の補助具	<u>試験時間中に、定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すると不正行為失格となります。</u>
耳栓	監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。

※試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外の物品を使用したい場合は、受験上の配慮の申請（35ページ参照）が必要です。

9. 監督者が写真票及び机上の受験票の写真と受験者の顔の確認を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
10. 不正行為等（「★不正行為等の取り扱い」参照）の理由で退場を命じられた者は、既に受験済みの試験は全て無効とし、それ以降の受験も認めません。
11. その他受験に関する問い合わせは、出願した学部の教務担当（66ページ参照）に照会してください。

★ 不正行為等の取り扱い

- ① 次の不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退場を命じられ〔不正行為失格〕となります。〔不正行為失格〕が命じられた場合は、既に受験済みの試験は全て無効とし、それ以降の受験も認めません。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応を取る場合があります。

ア. 受験票に本人以外の写真が貼ってあった場合や解答冊子に本人以外の名前や受験番号を記入した場合。
イ. カンニング（カンニングペーパー・教科書・辞書及び参考書類の使用、他の人から答えを教わることなど）を行うこと。
ウ. 他の受験者に答えを教えたり、解答冊子の交換等により、カンニングの手助けを行うこと。
エ. 試験時間中に、問題冊子・解答冊子・下書き用紙を試験室から持ち出すこと。
オ. 『解答を始めなさい。』の指示前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
カ. 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス等）・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類をかばんにしまわず、使用したり、机の上に置いていたり、衣服の中も含めて身につけていたり、手に持っていたりすること。
キ. 試験時間中に、定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すること。
ク. 『解答をやめなさい。』の指示に従わず、解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次の行為を行うと不正行為となることがあり、場合によっては、文書により警告します。不正行為と見なされた場合の取り扱いは上記①の場合と同じです。

ア. 試験時間中に、時計（腕時計・置時計等）及び定規・コンパス・電卓等の補助具をかばんにしまわず、机の上に置いていたり、衣服の中も含めて身につけていたり、手に持っていたりすること。
イ. 解答冊子の見せ合い、話し合い、のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。
ウ. 試験時間中に、長い間、机の下に手を入れたり、服のポケット等に手を入れたりすること。

- ③ 次の行為を行うと試験妨害と見なされ、その場で試験の中止と退場を命じられ〔退場命令失格〕となります。〔退場命令失格〕が命じられた場合は、既に受験済みの試験は全て無効とし、それ以降の受験も認めません。なお、試験妨害については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応を取る場合があります。

ア. 監督者の指示に従わず、他の受験者に迷惑となる行為を繰り返すこと。
イ. その他、試験の公平な実施を損なうおそれのある行為をすること。


詐欺まがいの行為に注意してください！

試験場周辺において本学関係者を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

本学関係者が受験者の個人情報聞き出し、現金を要求することは一切ありません。

IX 合格者発表

合格者の発表は、下記日時に、合格者受験番号※を京都大学入試情報 Web サイトに掲載して行います。

発表日時	京都大学入試情報 Web サイト
令和7年3月10日(月) 正午	https://daigakujc.jp/kyoto-u/ 

- ・掲載期間(前期日程)：令和7年3月10日(月)正午～3月16日(日)午後5時
 - ・受験者への可否の通知等はありません。また、電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。
- ※工学部と農学部の実験番号の後のアルファベットは、合格した学科を表します。

工学部	A 地球工学科 B 建築学科 C 物理工学科 D 電気電子工学科 E 情報学科 F 理工化学科
農学部	A 資源生物科学科 B 応用生命科学科 C 地域環境工学科 D 食料・環境経済学科 E 森林科学科 F 食品生物科学科

X 入学手続

入学手続は、「1. 入学手続に必要なもの」を期限までに、市販の封筒に京都大学一般選抜 Web サイト「入学手続」ページ (<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/undergrad/procedure>) から印刷した入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付け、「簡易書留速達」で郵送してください。

所定の期限までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

1. 入学手続に必要なもの

- (1) 入学料振込金受付証明書 <入学料 282,000 円(予定)>

(注) 受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。

- (2) 大学入学共通テスト受験票
- (3) 本学受験票
- (4) 学籍登録シート

(注) 受験票送付時に同封する「学籍登録シート」に写真※を貼付し、氏名等の修正の有無を記入してください。

「大学入学共通テスト受験票」記載の「氏名・フリガナ・生年月日」を学籍情報として登録し、学生証を作成しますので、氏名等を必ず確認し、その記載に間違い等がある場合は、それを訂正してください。訂正がない場合は、「訂正無し」欄にチェックを入れてください。

※写真について

- ・サイズは縦3cm×横2.4cm、脱帽正面向きで3か月以内に撮影したもの。光沢仕上げ(絹目仕上げは不可)。
- ・裏面に氏名、合格した学部・学科名及び個別学力検査の実験番号を記入してください。
- ・写真は学生証に印刷され、在学期間中(4年間または6年間)使用しますので、高等学校等の制服着用のもは避けてください。写真を変更するために学生証を再作成する場合は有料となります。

【入学料・授業料等について】

ア. 入学料は、受験票郵送時に同封する本学所定の「振込依頼書」により、合格者発表後から入学手続時までに金融機関(ゆうちょ銀行及び郵便局は除く)の窓口で納入してください。振込の際、収納印の押された「振込金受付証明書」を受け取り、受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付し、郵送してください。

イ. 納入した入学料は、返還しません。ただし、所定の入学手続期間内に入学辞退を申し出た者についてはこの限りではありません。また、入学料免除及び入学料徴収猶予の申請を希望する者は、

入学料は納入しないでください

ウ. 入学料免除及び入学料徴収猶予については、61ページ「Ⅲ. 修学案内」を参照してください。

エ. 授業料は、入学後に口座振替により納入いただきます。

(引落時期：5月27日、11月27日)

※27日が土日祝日の場合はその翌営業日が振替日となります。

＜令和7年度前期分授業料 267,900円（予定）＞

※授業料は入学時及び在学中に改定されることがあります。

※口座振替の申込みが間に合わないなどの事情により、口座振替による納入ができない学生にのみ「振込依頼書」を5月20日頃に送付しますので、当該依頼書をご利用ください。

※授業料の詳しい納入方法は、入学案内等に同封する書類を確認してください。

2. 入学手続方法

(1) 郵送締切日時

令和7年3月14日（金） 午後5時必着

※上記締切日時までに手続ができない場合は、合格した学部の教務担当（66ページ参照）へ締切日時までに連絡して、指示に従ってください。

(2) 郵送先・郵送方法

宛先は合格した学部の教務担当とし、「1. 入学手続に必要なもの」をすべて同封し、京都大学一般選抜 Web サイトから印刷した宛名ラベルを市販の封筒に貼り付け、必ず簡易書留速達として郵送してください。

※宛名ラベルのダウンロード

京都大学一般選抜 Web サイト「入学手続」ページ

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/undergrad/procedure>

※配達状況については「郵便追跡サービス」(<https://www.post.japanpost.jp>)で確認できます。

(3) 注意事項等

入学手続が完了後、「大学入学共通テスト受験票」、「本学受験票」、「入学許可書」、「入学案内-授業開始までの手続と行事-」等の書類を、3月18日（火）までに発送します。これ以後の各種手続は Web を用いたオンラインシステム上で行うこととなります。詳細につきましては、「入学案内-授業開始までの手続と行事-」等をご覧ください。3月21日（金）を過ぎても書類が届かない場合は、合格した学部の教務担当（66ページ参照）へ問い合わせてください。

3. 入学辞退手続

合格者であって、本学への入学の意思がなく、入学を辞退しようとする者は、3月14日（金）午後5時までに合格した学部の教務担当（66ページ参照）へ申し出るとともに、入学を辞退する旨を明記のうえ、①合格者氏名、②受験番号、③郵便番号、④住所、⑤電話番号をファックスにてお知らせください。なお、ファックス番号は申し出の際にお知らせします。

入学を辞退した者は、本学への入学手続を行うことはできません。

4. 入学手続上の諸注意

本学を含め1つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）に入学手続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。また、本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）に入学手続することはできません。※公立大学協会 Web サイト (<https://www.kodaikyo.org>) 参照のこと。

XI 追加合格

追加合格を行う場合は、追加合格候補者に対し、3月28日（金）から3月31日（月）までの間に、当該学部から志願票に記載の連絡場所へ通知します。

ただし、本学から追加合格候補者として通知を受けた者であっても、既に他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）で入学手続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格者の入学手続は、次のとおり行います。

1. 入学手続日 当該学部から指示します。
2. 入学手続場所 出願した学部の事務室
3. 入学手続に必要なもの 「X 入学手続 1. 入学手続に必要なもの」と同様です。

入学者・授業料免除及び入学者料徴収猶予の申請を希望する者は、入学手続の際にその旨伝えてください。

XII 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

1. 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績等は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1. 及び2. の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。
したがって、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

XIII 学部・学科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

◇総合人間学部

総合人間学部は、たえまなく変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。この挑戦に積極的に加わりようとする志をもつ人、高い倫理性と豊かな人間性を持ちつつ、国際的視野から人類が直面する様々な課題に向きあおうとする進取の精神をもつ人、持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人を本学部は求めます。

総合人間学部が入学を希望する人に求めるものは、高等学校の教育課程の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加えて、その内容を活用する主体的な思考力・判断力・表現力、そして他者と協働しながら学ぶ態度です。

総合人間学部の入学受入れは、京都大学の一般選抜において、文系試験と理系試験の2つに分けて実施し、多様な基礎的学力を測ります。また本学部独自の特色入試では、高等学校における学びの成果、基礎的学力とともに、文系と理系の総合的な思考力・表現力を評価します。これらの入試においては、総合的な学力の評価を行うために大学入学共通テストの成績を取り入れ、合否判定を行っています。

◇文 学 部

京都大学文学部は、人間の諸活動の原理的な解明とその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、行動科学を含む広義の人文学に関わる学術を教授することを教育理念の根幹としています。この理念に基づき、広い教養と深い専門知識を具え、人類の文化の継承と調和ある発展に寄与するとともに、倫理性にも優れた学生を育成することを教育目標とします。この教育目標を達成するために、本学部は、人文学に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することをめざす学生を求めています。この教育目標にそって、入学希望者に対しては、以下の点を入学前に具えておくことを求めます。

1. 総合的な基礎学力をもっている。より具体的には、高等学校の教育課程の教科・科目の習得により培われる分析力や俯瞰力、またそこで学んだことを活用する力を幅広く備えている。
2. 過去から現在に至り、さらに未来にまで伸びる人類の営みへ関心と異文化を理解する能力をもっている。
3. 高度の文章読解力と、外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力をもっている。
4. 論理的かつ柔軟で、創造性豊かな思考力とそれを表現する力をもっている。

入学後には、これらの力や関心を基礎として、人文学を中心とした幅広い科目の履修と「対話を根幹とした自学自習」の理念に基づく専修での学習・修練を経て、人文学に関する幅広い基礎的学識と特定の分野に関する深い理解を身につけ、人文学の発展に貢献するとともに、強固な責任感と高い倫理観をもって人類が直面する課題の解決に積極的に寄与することができるような能力を獲得することが期待されています。

入学試験においては、そうした入学後の学習をより多いものとする程度に、上記の四項目の力や関心が具わっているかを判定します。

一般選抜においては、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を見るとともに、個別学力検査において入学後の学習により密接にかかわる教科・科目についてより深く学力を判定します（詳細は募集要項を参照）。

特色入試においては、提出書類（「学びの設計書」等）・大学入学共通テスト・論文試験・「学びの設計書」に関連する論述試験の4つの要素を総合的に利用して判定を行います（詳細は募集要項を参照）。

◇教 育 学 部

本学部は、教育と人間に関わる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことにより、心、人間、社会についての専門的識見を養成し、さらに広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を形成し、責任感と高い倫理性をもって人間らしさを擁護し促進する態度を啓培することで、多様な人々との協働によって地球社会の調和ある共存に貢献できる人材の育成を目的としています。

本学部は、以上の目的を理解し、本学部での学修を希望する者に対して、1) 総合的な基礎学力、2) 人間と社会についての深い関心と洞察力、3) 柔軟な思考とゆたかな創造力を持ち、大学教育を通して、人間と社会、教育や心理についての関心を深め、論理的・批判的思考力、問題解決力とコミュニケーション能力を身に付けることができる学生を求めています。

一般選抜では、それらを大学入学共通テスト及び「文系」型又は「理系」型の個別学力検査により評価します。「文系」型では、入学後の学習の基盤となる、地理歴史と数学、国語、ならびに外国語の4教科に対して個別学力検査を実施しています。論理的思考力と表現力を支える国語と専門教育において必要となる外国語の比重が大きいことが特徴です。「理系」型では、理系教科を重視し、文系用数学に代えて、理系用数学を、また、「文系」型における地理歴史に代えて理科に関して個別学力検査を実施しています。

また、いったん他学問分野での専門教育を受け、あるいはさらに社会経験を積んだ本学部以外の大学卒業生で、再度、教育諸学における専門教育の勉学を志す者に対しては、学士入学（第3年次編入学）の選抜試験により、上記1)～3)について評価します。

さらに、特色入試においては、上記1)～3)に加え、(1) 教科及び総合的な学習の時間などにおいて、学習を深め、探究活動を行い、卓越した学力を身に付けていること、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、熟達を通して、深い洞察力を得ていること、(2) 将来、主体的に社会に貢献する志をもっていることを、提出書類、課題と口頭試問に基づく選考、大学入学共通テストにより評価します。

◇法 学 部

21世紀において、地球規模での交流が活発化し、科学技術や産業の革新が進む中、世界も日本も大きな転換期を迎えている今日、広い視野から国家・社会のあり方を深く考え、新たなビジョンを示して、時代を切り拓いていく優れた人材が求められています。

このような要請に応えるため、京都大学法学部は、自由の学風の下、豊かな教養を涵養し、国家・社会の制度や組織の設計及び運営等に必要なる法学及び政治学等の基本的知識の修得並びに思考力、判断力、構想力及び表現力等の育成を図り、グローバルな視野から、法、政治、経済及び社会を多角的かつ総合的に捉え、多様な価値観や文化を尊重し、地球・自然環境に配慮しつつ、多元的な課題の解決に取り組み、人々が協働し共に生きる社会の実現のために指導的な役割を果たすことができる優れた能力及び資質と高い志を備えた人材を養成することを教育目標としています。

1. 法学部では、このような教育目標に基づいて編成・実施される教育課程において学び、学位授与の方針に示される能力及び資質等を修得して、様々な分野で指導的な役割を果たすことができるように、高等学校等において、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語及び情報などの教科・科目を幅広く履修し、深く学習するとともに、多様な課外活動の経験等を通じて、次に掲げる能力及び資質等を備える者の入学を期待しています。

- (1) 国家・社会の制度や組織等の基礎及び背景を理解し、法、政治、経済及び社会を多角的かつ総合的に捉える基盤とするため、人間、社会及び自然に関する基本的知識及び見方・考え方を確実に身につけていること。
- (2) 国家・社会の制度や組織の設計及び運営に携わり、企画立案を行い、課題を解決する基盤とするために、(1)に掲げる知識及び見方・考え方を活用して、多元的な課題を考える思考力、判断力及び構想力等の基本を身につけていること。
- (3) 様々な分野で、多様な人々と協働し、指導的な役割を果たす基盤とするため、多様な考え方を理解し、論拠を示して自らの意見を述べるができる基本的なコミュニケーション能力、とりわけ論理的な文章を書く力の基本を身につけていること。
- (4) グローバル社会において活躍するために必要な英語その他の外国語の基本的な四技能をバランスよく身につけていること。
- (5) グローバルな視野から国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有すること。
- (6) 人々が協働し共に生きる社会の実現を志す倫理性と責任感を持ち、未だ答えのない課題等を自ら見だし、文献や資料等を調査して、徹底して考え抜こうとする自学自習の姿勢を有していること。

2. 法学部では、多様な人材を受け入れるため、複数の選抜方法を用いて、1に掲げる能力及び資質等を備えているか否かを判定します。

一般選抜においては、6又は7教科の大学入学共通テスト及び論述式試験を基本とする4教科の個別学力検査等により、1に掲げる(1)から(6)の能力及び資質等を総合的に判定します。

特色入試においては、提出書類（調査書、推薦書、学びの設計書等）、英語の文章を題材に日本語で解答する小論文試験及び6又は7教科の大学入学共通テストの成績により、1に掲げる(1)から(6)の能力及び資質等について、特に(4)から(6)の能力及び資質等を重視して総合的に判定します。

◇経済学部

経済学・経営学は個人から政府に至るまでの幅広い対象の経済活動ならびに企業の営利活動を研究対象とし、個人や社会の厚生の上を目指す学問です。その研究対象は決して単純ではなく、財政、産業、雇用、金融、地球環境などに解決すべき諸問題が次々と発生し、複雑性を増しています。京都大学経済学部は、自由の学風を維持しつつ、経済学・経営学の基礎的な科目の教育を充実するとともに、絶えず新しい分野の学問を教育することを心がけ、社会経済の変化に柔軟に対応し、解決策を発見、創造できる人材を育成することで学界、官界、産業界に貢献してきました。

このような歴史を踏まえ、京都大学経済学部は、経済学・経営学的分析能力を修得できる知力と探究心を持ち、かつ、教員や他の学生と積極的に討論を重ねることにより、自主的に考え創造的な提案が行える人材に成長できる学生を求めており、以下のような学生の入学を期待しています。

【経済学部が求める学生像】

- ・高等学校教育を通じて広範で高度な基礎知識を身につけるとともに、論理的思考力ならびに語学能力を修得している人
- ・社会・経済活動全般に積極的に関与したいと考える、知的好奇心が旺盛な人

京都大学経済学部が求めるような学生の成長を促すうえでは、多様な背景をもつ学生を受け入れることが重要であり、現在、「文系入試」、「理系入試」および「特色入試」（文系型および理系型）という3種類の入学試験を実施しています。

定員の多くを占める文系入試においては、経済学・経営学を学ぶための基礎となる地理歴史と数学、論理的思考力を担保する国語、専門教育や卒業後の国際的活動に不可欠な英語の4科目に関して個別学力検査を実施しています。理系入試においては、文系入試における地理歴史の試験に代えて理系用の数学試験を課すことで、経済分析で重要となる数理的能力を重視した選抜を行っています。大学院への進学を希望し、学問に固有な分析手法を修得できる知力と探求心を持ち、かつ、自主的に考え創造的な提案が行える人材に成長できる人を対象に実施する特色入試においては、高等学校の調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動・学習実績の概要、大学入学共通テスト（文系型および理系型）および英語能力試験（文系型のみ）を総合して選抜を行っています。

また、これらの3種類の入学試験においては、総合的学力の評価を行うために大学入学共通テストの点数を取り入れた合否判定を行っています。その他にも、外国学校出身者、3年次編入者向けに、多様な学力検査の機会を提供しています。

◇理学部

理学は自然現象を支配する原理や法則を探究する学問であり、その活動を通じて人類の知的財産としての文化の深く大きな発展に資するとともに、人類全体の生活向上と福祉に貢献する知的営為であります。京都大学理学部は、自由な雰囲気の下での学問的活動を何よりも大切に、新しい学問分野の創造に重要な役割を果たしてきました。その一端は、卒業生の中から4名のノーベル賞受賞者と2名のフィールズ賞受賞者を出したことからもうかがえます。現在もこの学風を継承し、多くの優れた人材を輩出する教育機関として更なる発展を続けています。京都大学理学部は、自由の学風の下で、将来の理学の創造、発展、応用、普及のための能力と知識を身につけることができる学生を求めており、以下のような学生の入学を期待しています。

【理学部が理想とする学生像】

- ・自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人
- ・高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人

京都大学理学部では1学科制のもと、「緩やかな専門化」を経て、それぞれの学生の能力・適性に合致した専門分野に向う教育を行っています。高等学校における数学と理科は、入学後、理学の各分野のより高度な内容を学ぶための基礎であり、それに対応できるような深い理解が求められます。また、国語は、論理的なものごとを考え表現する力の基礎となります。英語の力は、入学後、専門分野の学習、そして、将来の国際的な活動を支えるものとなります。したがって、入学する学生には、将来の専門にこだわることなく、高等学校において、幅広い学習を行ってこることを期待します。これらの学力を測るために、京都大学理学部では、数学・

理科(物理、化学、生物、地学から2科目)・国語・英語の個別学力検査を実施するとともに、大学入学共通テストの点数も取り入れた合否判定を行っています。

また、理学の各分野では、高等学校時から極めて優れた才能を現す者が見受けられます。そのような学生を求めるため、京都大学理学部では特色入試を行っています。その中で、数理科学の分野では、志願者の数学についての取り組みや達成に関する報告書等の提出書類、数学に関する能力測定考査、口頭試問、および大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定しています。また、生物科学の分野では、志願者の理科や数学についての取り組みや達成に関する報告書等の提出書類、生物に関する口頭試問、および大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定しています。

(参考) 理学部の教育の概要はこちらをご覧ください：

<https://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/education/undergraduate/divisions>

◇医学部

◎医学科

京都大学医学部は、1899年(明治32年)に京都帝国大学医科大学として創立された百有余年の歴史と伝統持つ医学部として、世界に誇る指導的な医学者、医学研究者を輩出してきました。医学部医学科は、京都大学が創立以来築いてきた自由の学風を継承し、医療の原点である「人を愛する」精神のもと、学生の自主性、自己啓発を教育の主眼として、個性豊かな創造性の涵養を目指しています。

このような方針を踏まえ、世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、以下のような学生の入学を期待します。

【医学部医学科が望む学生像】

- ・自ら課題を発掘する好奇心や探究心、それを解決しようとする主体性を持っている人
- ・高い倫理性と豊かな人間性を備え、他者との協調性を持っている人
- ・優れた知的能力とともに、国際的視野を持っている人

入学する学生には高等学校等において、教育課程の教科・科目の習得による基礎学力に加え、分析力や俯瞰力により、これを高度な学びへと展開できる向学心を培うことを求めます。医学部医学科が望む学生を選抜するために、一般選抜(前期日程)は、大学入学共通テスト並びに個別学力検査及び面接試験により、総合的に合格者を決定します。

また、医学・生命科学に深い関心を持ち、真摯な姿勢、強い熱意を持って真理を探究し、世界の医学をリードする医学研究者としての資質・適性を持つ人材を求め、特色入試を実施します。高等学校での成績および英語能力において所定の基準を満たす学生を対象に、高等学校での取り組みや医学研究に対する考えに関する報告書等の提出書類並びに口頭試問及び面接試験により、合格者を決定します。

◎人間健康科学科

京都大学医学部人間健康科学科は、1899(明治32)年に設置された京都帝国大学医科大学附属医院看護婦見習講習科に始まり幾多の変遷を経て、数多くの医学・医療従事者を輩出してきました。その歴史と伝統を基盤とし、21世紀の医学・医療の発展を担う「人間健康科学(Human Health Sciences)」の確立を目指しています。

そこで、本学教育の基本理念のもと、自由の学風を継承し、人類の健康と福祉に貢献する高度医療専門職及び総合医療科学領域における世界トップレベルの独創的な学術研究をリードする人材の育成を使命とし、以下のような学生の入学を期待します。

【医学部人間健康科学科が望む学生像】

- ・未知へと挑戦する進取の気性に富む人

- ・真理を追求する情熱を持ち、豊かな人間性と高い倫理観を備えている人
- ・優れた知識と技能及び思考力・判断力・表現力を持ち、自学自習のマインドを持つ人
- ・協調性に優れ、周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人
- ・将来、高度医療専門職、総合医療科学領域において、国内外の独創的な学術研究をリードする意欲のある人

数学と理科については、医学的、科学的な理解と、より高度な知識を学ぶために基礎となる学問であり、本学科では十分な理解が求められます。国語については、一般的に必要な基礎知識と論理的な考え方、表現力を身につけるため、また、英語については、国際的に通用する情報を確実に得てグローバルに活躍するためのコミュニケーション能力の涵養が重要となります。したがって、入学する学生は高等学校においてそれぞれの科目を幅広く学習し、総合的な基礎学力と高度な教養を深めていることを期待します。

これらの学力を測るため、本学科では、数学・理科（物理・化学・生物のうちから2科目）・国語・英語の個別学力検査を実施するとともに、大学入学共通テストの点数を取り入れて、合格者を決定します。

また、将来のビジョンが明確にあり、その分野への関心が非常に高い優れた人材を求めするため、特色入試を導入し、高等学校における取り組みや活動、大学入学後の学習設計に関する書類選考と、論文試験並びに面接試験及び大学入学共通テストにより、合格者を決定します。

◇薬学部

薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。京都大学薬学部は、この薬学という学問の基礎体系を深化させ、創薬科学、医療薬学の教育・研究を通して薬学の進展と社会の発展に貢献することを目標としており、産官学における幅広い薬学関連分野でリーダーとなる人材を輩出してきました。

◎薬科学科

薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、将来、リーダーとして国際的に活躍することのできる人材を育成しています。そのために次のような人材を求めています。

1. 高等学校等における学習・課外活動を通じ、十分な基礎学力と論理的・批判的思考力を有している人。
2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、協調性に優れ周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人。
3. 現在の状況を把握したうえで自ら目的を設定し挑戦できる行動力がある人。
4. 創薬に関心と興味を持ち、将来、創薬領域で世界をリードできる薬学研究者を目指している人。

一般選抜においては、大学入学共通テストおよび個別学力検査により基礎学力を評価して合否判定を行っています。とりわけ数学と理科については、薬学的、科学的な事象を論理的に理解し、より高度な知識を学ぶために基礎となる学問であり、十分な学力を有していることが望まれます。国語については、文章を十分に読解し、自分の考えを論理的に構築し明快に表現する能力、また英語については、グローバルに活躍するためのコミュニケーション能力の基礎を身につけていることが重要となります。

また、創薬研究者となる確固たる将来設計を持ち、優れた才能を表す者を対象に実施する特色入試においては、高等学校における学業活動、志望動機・入学後の学修設計、大学入学共通テストおよび英語能力試験、論文試験、面接試験を総合して合格者を決定しています。

◎薬学科

薬学科では、医療薬学に関係する幅広い分野において、将来、医療薬学研究者のリーダーとして国際的に活躍することのできる人材、および高度な先端医療を担う薬剤師・医療従事者のリーダーとして社会に役立つ人材を育成しています。そのために次のような人材を求めています。

1. 高等学校等における学習・課外活動を通じ、十分な基礎学力と論理的・批判的思考力を有している人。
2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、協調性に優れ周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることがで

きる人。

3. 現在の状況を把握したうえで自ら目的を設定し挑戦できる行動力がある人。
4. 先端医療・医療薬学に関心と興味を持ち、将来、医療薬学領域で世界をリードできる医療薬学研究者、および先端医療を担う薬剤師・医療従事者のリーダーを目指している人。

一般選抜においては、大学入学共通テストおよび個別学力検査により基礎学力を評価して合否判定を行っています。とりわけ数学と理科については、薬学的、科学的な事象を論理的に理解し、より高度な知識を学ぶために基礎となる学問であり、十分な学力を有していることが望まれます。国語については、文章を十分に読解し、自分の考えを論理的に構築し明快に表現する能力、また英語については、グローバルに活躍するためのコミュニケーション能力の基礎を身につけていることが重要となります。

また、医療薬学研究者となる確固たる将来設計を持ち、優れた才能を表す者を対象に実施する特色入試においては、高等学校における学業活動、志望動機・入学後の学修設計、大学入学共通テストおよび英語能力試験、論文試験、面接試験を総合して合格者を決定しています。

◇工 学 部

京都大学工学部の教育の特徴は、京都大学の伝統である「自由の学風」の下で、「学問の基礎を重視する」ところにあります。「自由の学風」とは、既成概念にとらわれず、物事の本質を自分の目でしっかりと見るといことです。そこでは、学問に対する厳しさが要求され、それが、「学問の基礎を重視する」ことにつながります。一般的には「工学部は応用を主体とする学部である」と考えられています。「基礎を重視する」と言いますと、やや異質な印象を持たれるかもしれません。しかし、京都大学工学部では、「基礎となる学理をしっかりと学んでおくことが、将来の幅広い応用展開や技術の発展を可能とするための必須条件である」という理念の下に、この教育方針を採っています。

このような方針の教育を受けてもらうために、次のような入学者を求めています。

1. 高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
2. 既成概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと確かめ、得られた情報や知識を整理統合し論理的に考察することによって、物事の本質を理解しようとする人。
3. 日本語・外国語を問わず、自らの意見や主張をわかりやすく発信する能力を身に着けるために必須の基礎的な言語能力とコミュニケーション能力を持った人。
4. 創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティーに満ちた人。

入学者選抜では、大学入学共通テストに加えて、数学・理科・英語・国語の基礎学力の評価に重点を置いて、個別学力検査および特色入試を実施し、上述の観点から多様な人材を評価・選抜しています。

なお、特色入試では、上記の基礎学力に加えて、特筆すべき理系の能力、および、責任感と倫理性を併せ持った人材を求めています。また、学科の求める学生像に応じて、調査書、推薦書、顕著な活動実績の概要、学びの設計書、大学入学共通テストの成績、口頭試問の中から必要項目を選択・組み合わせ、人物を評価しています。評価方法の比重等詳細については、募集要項に明記しています。

◎地球工学科が求める学生像

住みやすく豊かな都市と地域、安全に暮らせる国土、資源・エネルギーを基礎とした持続的文明、環境に配慮した地球社会を築いていくために、広く社会に役立つ土木工学、資源工学、環境工学を学びたい人を求めています。社会に貢献するための科学技術を学びたい人、多様な技術を集約して問題の解決をしたい人、国際的に活躍したい人、官・民・学の広い範囲から就職先を考えたい人に最適な学科です。地球工学科での専門教育を受ける上で十分な基礎学力と思考力を備えた人を求めます。

◎建築学科が求める学生像

人間生活に密接に係わる建築は、多様な技術を総合した創造的な努力によってつくりだされます。このため、自然科学だけでなく、人文科学、社会科学、さらには芸術にも深い関心をもつ学生を歓迎し、その才能を伸ばす教育を行います。建築家、建築技術者、研究者、建築・都市行政の担当者、各種事業に携わるプランナーなどを目指す人を求めます。

◎物理工学科が求める学生像

次世代の画期的な機械システム、新材料、エネルギーシステムを開発すること、宇宙空間への活動の場を拓げていくことに強い関心を持ち、これらの課題の実現に向け、古典物理学から近代物理学に到る幅広い物理学を基礎とした工学を学ぶ意欲を持つ人を求めます。物理工学科での専門教育を受ける上で十分な基礎学力と思考力を備えた人を求めます。

◎電気電子工学科が求める学生像

自然現象や科学技術、その人間生活との関わりなどに対して広い関心と旺盛な探究心をもつとともに、電気電子工学関連の学術分野へ強い興味を有し、専門教育を受けるのに十分な基礎学力と論理的思考力を備えた創造性豊かな入学者を求めます。

◎情報学科が求める学生像

高度情報社会における幅広い問題を情報学の知識と数理的思考により解決することに強い関心を持つ人を求めます。数学、物理学をはじめとする理科系科目に関する十分な基礎学力と論理的思考力に加えて、情報学が関係する人文・社会科学を含めた諸学問に対する興味を持つ人を求めます。

◎理工化学科が求める学生像

理工化学科では、持続可能な社会をつくり出すために、地球規模課題に対して化学が求められているミッションを念頭に、創造的な基礎技術・先端技術の開発や学際領域の研究を推進しています。そのためには化学および化学に関連する基礎学理のすばらしさを理解し、既成概念にとらわれずに物事を論理的に考え、さらに自ら問題を解決することが求められます。したがって、学習する志と意欲をもち、高等学校での学習内容をよく理解し、理工化学科での専門教育を受ける上で十分な基礎学力と論理的思考力を有している人を求めます。

◇農学部

農学部が望む学生像

農学は、生物学のみならず、化学、物理学、社会科学等の多様な基礎知識を必要とするいろいろな学問分野から成り立っています。21世紀の重要課題である「生命・食料・環境」に関わる様々なかつ複合的な問題に立ち向かっていくためには、特定の専門に偏らない広い視野に立った総合的な取り組みが必要です。本学部は、それぞれの分野に共通する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科ごとに異なる高度な専門教育を実施することにより、国際的な広い視野と高度な専門知識をもち、高い倫理性と強い責任感をもち、主体的に行動でき、コミュニケーション能力に長けた多様で優れた人材を養成することを目的としています。したがって、各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲をもち、応用力と適応力、ならびに、それぞれの専門教育に必要な学力を有する学生を求めています。

その学力を測るため、一般選抜では全学科共通で大学入学共通テストの得点に加え、国語・数学・理科（物理、化学、生物、地学から2科目）・外国語（英、独、仏、中から1科目）の個別学力検査を実施して入学者選抜を行っています（各検査の比重等、詳細については、一般選抜入学者選抜要項に明記しています）。また、各学科の示す人材を求めるために特色入試も行い、調査書、学業活動報告書、学びの設計書、大学入学共通テストの成績のほか、英語能力検定試験、小論文、口頭試問、面接試験を学科ごとに組み合わせて合否判定を行っています（各評価方法の比重等、詳細については、特色入試選抜要項に明記しています）。

◎資源生物科学科

農業、畜産業および水産業が抱える諸問題や生物学的諸現象に広く関心をもち、勉学意欲に富み、問題に対して幅広い視点から論理的に解決案を見いだし得る人材を求めます。したがって、英語などの基礎科目について十分な素養を備えているとともに、とりわけ生物をはじめとする理科の科目に関して十分な学力を有していることが望まれます。このような学生を選抜するために、一般選抜を行うとともに、明確な問題意識とそれを解決しようとする極めて高い意欲のある人を特色入試で選抜します。

◎応用生命科学科

生命科学、食料生産、環境保全に強い関心を持ち、生命現象や生物の機能を化学的な視点によって解明・活用することに興味がある人を求めます。また、自分の考えをもつとともに異なる意見にも耳を傾けることができ、自分の考えをまわりのひとに的確に伝えることができる人が望まれます。その選抜にあたっては、筆記試験による一般選抜の他に、未知の領域に好奇心をもって挑戦できる人材を選考する目的で特色入試を行います。

◎地域環境工学科

一般選抜では、農業・農村問題や環境問題、人類への食料供給問題に強い関心を持ち、これらの問題解決に向けた物理学・数学を基礎とした工学的・技術的な方法論を学ぶために必要な学力を有する学生を求めます。ただし、農業生産と密接な関係があることから、生物学や生命科学などにも強い関心をもつ学生が望まれます。特色入試では、食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識と工学的問題解決能力をもって社会のリーダーとなるべき人材を求めます。特色入試において、具体的には大学入学共通テストによる基礎学力とともに、小論文試験により問題解決能力、論理的思考力について、面接試験により意欲、適性および識見について評価します。

◎食料・環境経済学科

一般選抜では、食料、環境、農林水産業等において生ずる様々な社会・経済問題に対して強い関心を持ち、幅広い観点から自身の力で論理的・実証的に問題の解決に向かって努力する人材を求めます。理科系科目に興味をもちつつ、経済学を基本としながらも、経営学、社会学、歴史学など人文・社会科学を積極的に勉強したい学生を望みます。特色入試では、一般選抜によっては把握できない能力を有し、将来、高度な専門知識を持ち、食料、環境、農林水産分野の発展を主導できる可能性のある人材を求めます。

◎森林科学科

身近な生活空間から地球規模の環境問題までを視野に入れて、森林生態系の保全と活用、森林由来の生物資源の利用、森林と人間の共生などの課題に積極的にチャレンジする人材を求めます。一般選抜においては、応用力、適応力、科学的解析力などをバランスよく兼ね備えた人材を重視します。特色入試では、森林科学の立場から社会に貢献するための高度な専門知識と問題解決能力を習得する強い意欲と能力のある人材を望みます。

◎食品生物科学科

食の観点から、「生命・食料・環境」に関わる課題を包括的に取り組み、科学的に解決する人材を求めています。具体的には、食に関わる幅広い問題に関心をもつとともに、生化学、有機化学、物理化学および分子生物学を基盤とする生命科学はもとより、人と社会に関わる哲学、経済学など人文・社会科学の基礎科目を学ぶ意欲を持ち、これらの学問的背景のもとに、本学科の学理を修得し、将来、産・官・学の各分野において、食品生命科学、食品健康科学、および食品生産工学に関わる創造的な研究ならびに開発・生産活動を、強い責任感および高い倫理性とリーダーシップをもって実行できる人材を求めています。その選抜にあたっては、筆記試験のみによる一般選抜の他に、国際的に活躍できる人材を選考する目的で、口頭試問を含む特色入試を行います。

XIV 京都大学の個別学力検査の出題方針について

京都大学が入学者を選抜するため実施する個別学力検査の出題教科・科目は、高等学校学習指導要領による教育課程にしたがって学ぶ教科と科目に対応しています。出題教科・科目における出題範囲と学習指導要領上の教科・科目の関係は次の表のとおりです。

出題教科・科目	学習指導要領上の教科・科目
国語	
文系、理系	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、古典探究
地理歴史	
日本史	日本史探究
世界史	世界史探究
地理	地理探究
数学	
文系	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C
理系	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C
理科	
物理	物理基礎、物理
化学	化学基礎、化学
生物	生物基礎、生物
地学	地学基礎、地学
外国語	
英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
ドイツ語	
フランス語	
中国語	

京都大学の学部（医学部の場合、学科）は、それぞれの入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づいて個別学力検査の内容を定めています。京都大学が実施する個別学力検査は、知識の活用から思考力と表現力まで、入学志願者に備わった学習能力を評価します。

この「出題方針」は、高等学校段階までにどのような学習能力と学習態度を培うことを求めているのか、また、そうした能力と態度をどのような基準により評価しようとしているのかを示すものです。

高等学校の教育課程は、国語、地理歴史、数

学、理科、外国語だけからなるものではありません。京都大学が入学志願者に求めている学習能力は、高等学校の教育課程全般を通じて培われてくるものです。

こうして出題方針を示すことが、京都大学の入学志願者が受ける個別学力検査を理解するために役立つことを期待しています。

1. 国語の出題方針

「国語」では、日本語の文章の論理や論旨、あるいは作者の心情や表現の意図を、的確に理解し、自らの言葉で論理的にその理解を表現できることを評価します。そのため、文章のジャンルとして論説文、随筆、小説など、さらに文体についても明治擬古文までを含め、幅広く問題文を選び、漢字の書き取りや、文章表現の持つ意味、あるいは論理展開の説明をはじめとして、登場人物の言動に託された著者の意図、さらには問題文全体の論旨を問うなど、論述の形式で問題を課します。

古典文法についての正確な理解を持つとともに、古典の修辞などの基礎知識を持ち、的確に古文及び漢文の文章を理解できると同時に、原文を現代語訳できることを評価します。そのため、物語や歴史、随筆、日記をはじめとして、ジャンルや時代を限らず、幅広く問題文を選び、語句や修辞の説明、文章の現代語訳、さらに登場人物の言動の理解から問題文全体の論旨に至るまで、様々な形式で論述問題を課します。

「国語」は、国語（文系）と国語（理系）と区分をして出題します。この二つの間で、学習指導要領の国語科の科目からみて出題の範囲に変わりはありませんが、出題される問題が異なることがあります。

2. 地理歴史の出題方針

日本史

「日本史」では、原始・古代から現代まで各時代の政治・社会・文化の特色を、個別の事象や知識を相互に関係づけて捉え、現代日本の諸課題を踏まえつつ前後の時代や世界史との関係において考える、分析力と俯瞰力が求められます。また、教科書をはじめとした歴史叙述は、遺跡・遺物や文書・記録など様々な歴史資料の研究成果に基づいていますが、こうした歴史資料に親しみ、それらを多面的に検討し自ら読み解いていく意欲と能力が求められます。なお、「日本」という領域は歴史的に形成されてきた

ものですが、その側面を各時代の周辺諸地域との交流や国際的な諸関係の中に位置づけて理解できることも必要だと考えています。

「日本史」の出題では、以上のような観点から、教科書から得られる基礎的な知識を活用して、広い視野で歴史を総合的に理解する力を問う問題や、事象の正確な把握を踏まえ、道筋を立てて説明する能力を問う問題を、出題します。

世界史

「世界史」では、個々の地域世界の成立と発展、地域世界間の交流、近代以降の時代における諸地域世界の結合と変容、そして今日の地球世界の到来という世界史の潮流を、総合的に捉えるとともに、歴史に見られる課題を把握して主体的に探究し、議論する能力が求められます。

「世界史」の出題では、狭義の一国史よりも地域世界を単位として重視しつつ、政治・社会・文化の様々な側面について、個々の地域世界の内部の展開及び地域世界相互の関係、そして今日のグローバル化した国際社会の成立にいたる過程を適切に把握しているかを問うことに重点を置いています。このような観点から、教科書に記載されている個々の歴史的事象をその背景とともに理解しているかを問う問題や、課題を主体的に探究する前提として様々な歴史的事象を一貫した論理の下に相互に関連づけて歴史的潮流を説明する能力を問う問題を、出題しています。

地理

「地理」では、現代世界の地理的事象を、自然環境、資源、産業、交通・通信、観光、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などの側面から理解する系統地理的能力、並びに、現代世界の諸地域について、地域的特色や地域の結び付きなどを理解する地誌的能力とともに、今日の諸課題に関する地球的視野からの多面的・多角的な考察力が求められます。

「地理」の出題では、基礎的な知識・技能を踏まえた、広い理解力や論理的な思考力を問うことに重点を置いています。このような観点から、地図(地形図を含む)、写真、統計などの資料も用いつつ、世界の地理的諸事象の立地や分布、社会と自然環境の相互関係、空間的な相互作用、場所や地域の形成要因やその時間的変化についての的確に説明する能力を問う問題を、出題しています。

3. 数学の出題方針

我が国の高等学校と中学校では、身近な現象や事象を「数学」の視点から捉えて数学の問題を作り出すこと、また数学に現れる様々な事項を理解して論理的に考察したり処理したりすること、さらには得られた数学的な知識を利用して身近な現象・事象の理解を深めたり問題解決に役立てることの全般を「数学的活動」と呼んでいます。このような数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めること、事象や現象を数学的に表現する能力を高めること、さらには学習を通して創造性の基礎を涵養するとともに数学の良さを認識し、数学的な知識を論理的根拠に基づいて積極的に活用して判断しようとする態度を育てることが高等学校における数学学習の目標であると、学習指導要領は定めています。本学の個別学力検査における数学は、高等学校卒業までに学習する「数学」について、入学志願者がこの学習目標をどの程度達成しているかを評価し判断するものです。

数学の学力とは、単に計算力や論理力だけを指すものではなく、数学的な直観力や、式や数学の概念を利用した表現力なども含まれるものと考えています。したがって、我が国の小学校入学から高等学校卒業までに学習する数学的な概念、原理・法則、公式などの事項のすべてについて、個々の知識の有無だけを単に評価するのではなく、上述のような総合的な数学力を評価する問題を出題するように心掛けています。このため、個別学力検査では、数学的な表現力を評価するため、論述形式の解答となるような出題を主体にします。

具体的には、計算問題であっても、単に計算結果だけではなく、その過程や背後の論理性を評価するような出題を心掛けています。また、論理を問う問題では直観、類推、帰納、演繹などの数学的考察を正確な数学的表現力で記述する能力を評価できるような出題を心掛けています。数学の問題ではいわゆる「正解」に至ることは大切ですが、「正解に至る論理的に正しい過程」も正解と同様に大切です。

高等学校卒業までに学習する概念、原理、法則、公式といった数学的な知識や事項の記述は、現状では教科書によってその扱いや書き方が多少異なっていますが、本学の数学において出題範囲としている内容について、いずれかの検定済教科書で記述されている事項はすべて出題範囲に含まれていると考えています。現状の

数学の高等学校用検定済教科書の内容は、高等学校学習指導要領を踏まえてそこに定められる事項をすべて含みつつ、高等学校卒業までに培われる「数学的活動」の能力によって修得できる程度の事項について幅広く記述されています。したがって、個別学力検査における出題に際しても、高等学校学習指導要領を十分に踏まえた上で、いずれかの検定済教科書で記述されている程度の、高等学校卒業までに得られる論理力から理解できる程度の幅広い事項は出題対象であると考えています。問題作成にあたっては、単発的な個別の数学的知識を問う問題や、解法の暗記によって対処できるような問題を排するように心掛けています。さらに、出題範囲に含まれている複数単元でそれぞれに学習する数学的な知識を論理的・系統的に理解することによって問題解決に到達するいわゆる「融合問題」の出題を通して、数学的な知識の活用度も評価します。

数学（文系）と数学（理系）の間では出題される問題が異なることがあります。出題の方針に変わりはありません。

4. 理科の出題方針

物理

高等学校で学ぶ物理では、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、体系化された知識に基づいて自然の事象・現象を分析的かつ総合的に考察する能力を身に付けることを目標としています。物理学の基礎知識や考え方は、「力と運動」、「エネルギー」、「電気と磁気」、「波」、「熱と温度」、「分子や原子」といった様々な概念や原理・法則を系統的に理解するために必須のものであり、十分な修得が求められます。

個別学力検査「物理」では、物理学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定する出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないように出題します。出題の形式においては、知識の確認、物理的思考、計算力を総合的に判断できるように問題を配置します。さらに、思考の過程と論証力を測る目的の記述式問題も出題します。そして、知識の羅列のみでなく、物理的思考、論証力、計算力を総合的に評価します。

化学

高等学校で学ぶ化学では、原子・分子と化学結合の概念を正しく捉えた上で、物質の性質や物質の変化に関する基本的な原理・法則の理解

を深めることを目標としています。また、それらの原理・法則をただ記憶するのではなく、観察・実験を通して物質の具体的な性質や反応と結び付けて理解し、それらを活用する能力を身に付けることを目指しています。すなわち、無機物質、有機化合物、高分子化合物などの個々の性質や反応についての知識を単に蓄積するのではなく、それらに基づいて論理的に思考できることが重要です。

個別学力検査「化学」では、化学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定する出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないように出題します。出題にあたっては、物質に関する基本的な知識が身に付いているかを問い、化学の基本となる概念や原理・法則を活用する能力を試します。さらに、反応式、構造式を適切に表記し、定性的あるいは定量的な考察を論理的に記述できるかも問います。

生物

高等学校で学ぶ生物では、生物や生物現象への関心を高め、目的を持って観察・実験を行い、生物学的に探求する能力を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解することを目標としています。遺伝子から生態系にいたる様々な生物学的事象についての基礎知識は、現代社会が直面する医療、生命倫理、食料生産、環境保全、生物多様性保全といった重要な課題に対応する上で必須のものであり、十分な修得が求められます。

個別学力検査「生物」では、生物学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定する出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないように出題します。さらに、修得した知識に基づいて、生物や生物現象に関する観察や実験の結果を適切に解釈し結論を導く能力を重視し、それを評価するために、記述・論述問題を取り入れます。

地学

高等学校で学ぶ地学では、日常生活や社会との関連を図りながら、地球と地球を取り巻く環境、及び宇宙への関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育成するとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を養うことを目標としています。

個別学力検査「地学」では、地学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定す

る出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないうように出題します。また、個別的な知識を問うだけでなく、地学的な基礎知識を活用して地学的現象を科学的に理解し、総合的かつ論理的に説明し、記述する能力を評価できるような問題を出題します。

5. 外国語の出題方針

外国語については、英語、ドイツ語、フランス語、中国語を出題します。

入学志願者には、外国語で書かれた情報を正確に理解するだけでなく、自らの主張や意見を、外国語を使って発信する能力を培うことを求めます。個別学力検査では、出題する個々の言語についての基礎的な学力とその応用力を評価の対象とします。以下、英語を例として出題の方針を説明します。

個別学力検査「英語」では、ただ単に英語を話すだけではなく、英語で書かれた論文や学術的な内容の記事を正しく理解し、その内容を的確にまとめ、それに対する自己の見解を効果的に表現するという、高い英語コミュニケーション能力を身に付ける上での基礎的な学力とその応用力を問います。この高い英語コミュニケーション能力は、しっかりした語彙力や慣用表現の知識、構文や文法の理解などを基盤としてようやく実現されるものです。

このような基礎的な学力とその応用力を問うために、まとまった内容の英文和訳や和文英訳を求める問題を多用します。語彙知識を問うことに加えて、文法事項のうちでも特に論理的な思考と表現に欠かせない関係代名詞や関係副詞、仮定法、分詞構文などの理解力や、代名詞の指示対象の的確な理解力を問います。未学習の語句の意味を前後の文脈から正しく推測して、文章全体の主旨を速やかに把握する能力も問います。このような出題を通して、単なる訳出ではなく、包括的な英語の理解力と表現力を重視して評価します。

2. その他

I 京都大学の教養・共通教育について

京都大学の教育体系は、教養・共通教育と専門教育^{※1}により構成されています。専門教育はそれぞれの学部で実施されます。これに対して教養・共通教育は全学部の学生を対象に国際高等教育院が実施しています。

本学の教育として教養・共通教育を行っている目的は、第一に自分の選んだ専門分野以外の学問に触れ、多様な問題関心や学問的方法論を理解することであり、第二に専門教育の課程で必要とされる基礎的な学力や知識・技能を習得することが挙げられます。また、国際化した社会において学問研究に従事し、あるいは、社会の様々な分野で活躍するために、第三の目的として、しっかりとした国際的視点とともに、十分なコミュニケーション能力を身につけることが挙げられます。英語・初修言語学習については、国際高等教育院附属国際学術言語教育センター（i-ARRC）^{※2}の教員がサポートしています。

どの学部に入学した場合も、教養・共通教育として「全学共通科目」の履修が求められます。専門教育の前に、もしくは専門教育と並行しながら、まず「全学共通科目」^{※3}を学ぶこととなります。

なお、国際高等教育院では、自らの英語能力に関して自覚を促すために、学部新入生を対象として、英語能力試験（TOEFL ITP）を実施します。外国語として英語を選択した新入生は、1回生の間に2回、TOEFL ITP 試験を受験することとなります。2回目の試験の成績は、1回生後期に配当される科目「英語ライティングーリスニングB」の成績評価の一部としても利用します。

また、国際高等教育院では、さまざまな科目でコンピュータの活用を求めていることや、Web を用いたオンラインシステムの利用が手続き等で必要なことから、入学者に対して、学習用ノートパソコンの保有を推奨します。それに際して、大学での学習に適したノートパソコンの仕様も示しています。

※1 専門教育とは、各分野の専門的知識や学問の方法を身につけることを目的として各学部が実施するものであり、その教育課程は、各学部の理念と教育方針に基づき決定されています。

※2 国際高等教育院附属国際学術言語教育センター（i-ARRC）の詳細については、i-ARRC のWeb サイトをご覧ください。

<https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/>



※3 「全学共通科目」の詳細については、国際高等教育院 Web サイトをご覧ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/zenkyo>



Ⅱ 過去3年間の入学試験結果の概要

※入学試験結果の詳細については、京都大学Webサイト (<https://www.kyoto-u.ac.jp/>) を参照してください。

「ホーム」>「入試・高大連携」>「一般選抜」>「入学者選抜実施状況」

令和6年度

		募集人員	受入予定数 (目安)	志願者数	第1段階 選抜合格 者数	受験者数	合格者数	入学辞退 者数	追加合格 者数	入学者数
総合人間 学 部	前期	116		456	403	395	119	0	0	119
		63		234	217	215	64	0	0	64
		53		222	186	180	55	0	0	55
文学部	前期	210		630	630	619	211	0	0	211
教育学部	前期	58		194	194	186	58	1	0	57
		48		162	162	154	48	0	0	48
		10		32	32	32	10	1	0	9
法学部	前期	300		766	765	754	311	1	0	310
経済学部	前期	212		719	696	675	222	0	0	222
		187		575	573	555	197	0	0	197
		25		144	123	120	25	0	0	25
理学部 ※1	前期	301		815	814	792	295	2	2	295
医学部	前期	180		529	521	512	194	0	0	194
		105		288	280	275	110	0	0	110
		75		241	241	237	84	0	0	84
薬学部	前期	74		195	195	186	76	0	0	76
工学部 ※2、3	前期	920		2,718	2,715	2,657	927	0	0	927
		地球工学科	174	488	488	—	175	0	0	175
		建築学科	78	320	320	—	80	0	0	80
		物理工学科	231	828	827	—	232	0	0	232
		電気電子工学科	124	364	363	—	125	0	0	125
		情報学科	88	363	363	—	89	0	0	89
		理工化学科	225	355	354	—	226	0	0	226
農学部	前期	285		778	778	756	288	3	0	285
		資源生物科学科	93	—	—	—	94	1	0	93
		応用生命科学科	44	—	—	—	44	0	0	44
		地域環境工学科	34	—	—	—	34	0	0	34
		食料・環境経済学科	30	—	—	—	30	0	0	30
		森林科学科	51	—	—	—	51	1	0	50
		食品生物科学科	33	—	—	—	35	1	0	34
計		2,656		7,800	7,711	7,532	2,701	7	2	2,696

※1 理学部の募集人員については、外国人留学生のための選考若干名を含む。

※2 工学部の学科別志願者数および第1段階選抜合格者数は、第1志望学科の数を示す。

※3 工学部においては、「外国人留学生を対象とした国際コースのための選考」、「外国人留学生のための選考」による入学手続者を除く。

[外国学校出身者のための選考の実施結果 (外数)]

学 部	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退 者数	入学者数
法 学 部	10人以内	7	7	4	2	0	2
経 済 学 部	10人以内	10	7	4	4	0	4

※ 法学部では第1次選考は実施しない。

※ 受験者数は最終教科時における数字である。

令和5年度

			募集人員	受入予定数 (目安)	志願者数	第1段階 選抜合格 者数	受験者数	合格者数	入学辞退 者数	追加合格 者数	入学者数	
総合人間 学 部	前期	文系	116		416	403	396	118	0	0	118	
		理系	63		224	217	212	64	0	0	64	
			53		192	186	184	54	0	0	54	
文学部	前期		211		622	620	608	214	0	0	214	
教育学部	前期	文系	59		189	182	177	59	1	0	58	
		理系	49		147	147	143	49	1	0	48	
			10		42	35	34	10	0	0	10	
法学部	前期		300		686	684	672	310	1	0	309	
経済学部	前期	文系	215		666	634	614	221	0	0	221	
		理系	189		513	513	495	195	0	0	195	
			26		153	121	119	26	0	0	26	
理学部	前期		301		789	775	768	305	0	0	305	
医学部	前期		181		556	533	508	192	1	0	191	
		医学科	105		287	265	259	108	0	0	108	
		人間健康科学科	76		269	268	249	84	1	0	83	
薬学部	前期		76		203	203	193	79	0	0	79	
工学部※1、2	前期		913		2,530	2,529	2,468	920	4	0	916	
		地球工学科		172		425	425	—	174	2	0	172
		建築学科		78		283	283	—	79	0	0	79
		物理工学科		230		757	756	—	231	0	0	231
		電気電子工学科		123		366	366	—	124	1	0	123
		情報学科		88		408	408	—	89	1	0	88
		工業化学科		222		291	291	—	223	0	0	223
農学部	前期		288		760	759	741	291	1	0	290	
		資源生物科学科		94		—	—	—	94	0	0	94
		応用生命科学科		45		—	—	—	45	0	0	45
		地域環境工学科		36		—	—	—	36	0	0	36
		食料・環境経済学科		29		—	—	—	29	0	0	29
		森林科学科		51		—	—	—	53	0	0	53
		食品生物科学科		33		—	—	—	34	1	0	33
計		2,660		7,417	7,322	7,145	2,709	8	0	2,701		

※1 工学部の学科別志願者数および第1段階選抜合格者数は、第1志望学科の数を示す。

※2 工学部においては、「外国人留学生を対象とした国際コースのための選考」、「外国人留学生のための選考」による入学手続者を除く。

〔外国学校出身者のための選考の実施結果（外数）〕

学 部	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退 者数	入学者数
法 学 部	10人以内	11		6	3	0	3
経 済 学 部	10人以内	22	15	12	6	0	6

※ 法学部では第1次選考は実施しない。

※ 受験者数は最終教科時における数字である。

令和4年度

			募集人員	受入予定数 (目安)	志願者数	第1段階 選抜合格 者数	受験者数	合格者数	入学辞退 者数	追加合格 者数	入学者数
総合人間 学 部	前期	文系	115		399	378	374	118	0	0	118
		理系	62		192	191	189	63	0	0	63
			53		207	187	185	55	0	0	55
文学部	前期		211		643	641	620	216	0	0	216
教育学部	前期	文系	55		194	194	188	56	0	0	56
		理系	45		158	158	154	46	0	0	46
			10		36	36	34	10	0	0	10
法学部	前期		300		701	700	694	310	2	0	308
経済学部	前期	文系	215		576	557	548	221	2	0	219
		理系	189		458	457	450	195	2	0	193
			26		118	100	98	26	0	0	26
理学部	前期		301		691	676	663	312	2	0	310
医学部	前期		184		482	468	446	194	2	0	192
		医学科	106		265	251	247	109	0	0	109
		人間健康科学科	78		217	217	199	85	2	0	83
薬学部	前期		78		213	213	206	83	0	0	83
工学部 ※1	前期		928		2,572	2,569	2,518	935	4	0	931
		地球工学科 ※2	175		397	396	—	176	2	0	174
		建築学科	79		289	289	—	80	0	0	80
		物理工学科	230		755	754	—	232	1	0	231
		電気電子工学科	124		404	404	—	125	0	0	125
		情報学科	88		402	401	—	89	0	0	89
		工業化学科	232		325	325	—	233	1	0	232
農学部	前期		290		739	739	717	298	0	0	298
		資源生物科学科	93		—	—	—	93	0	0	93
		応用生命科学科	46		—	—	—	47	0	0	47
		地域環境工学科	34		—	—	—	36	0	0	36
		食料・環境経済学科	30		—	—	—	32	0	0	32
		森林科学科	54		—	—	—	56	0	0	56
		食品生物科学科	33		—	—	—	34	0	0	34
計		2,677		7,210	7,135	6,974	2,743	12	0	2,731	

※1 工学部の学科別志願者数および第1段階選抜合格者数は、第1志望学科の数を示す。

※2 工学部地球工学科は、外国人留学生を対象とした国際コースの人数を除く。

〔外国学校出身者のための選考の実施結果 (外数) 〕

学 部	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退 者数	入学者数
法 学 部	10人以内	19	—	14	5	0	5
経 済 学 部	10人以内	18	14	9	9	0	9

※ 法学部では第1次選考は実施しない。

※ 受験者数は最終教科時における数字である。

Ⅲ 修学案内

学生生活に必要な制度、施設等についての概要は、次のとおりです。

なお、経済支援等の各制度は改正される場合がありますので、最新の情報については、文部科学省 Web サイト又は京都大学 Web サイトをご確認ください。

- ▶ 文部科学省 Web サイト https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shougakukin/main.htm
- ▶ 京都大学 Web サイト <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/support>

1. 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から、高等教育の修学支援新制度による新たな支援が始まりました。京都大学は、修学支援新制度の対象機関に認定されています。

高等教育の修学支援新制度は以下の2つの支援からなります。

- ・授業料等の減免（授業料と入学料の免除または減額→2.（1）へ）
- ・給付奨学金（原則返還が不要な奨学金→3.（1）①へ）

2. 入学料免除・入学料徴収猶予・授業料免除

（1）高等教育の修学支援新制度による授業料等減免

日本学生支援機構（JASSO）の給付奨学金（3.（1）①）に採用された際の支援区分等により、授業料と入学料の全額、2/3、1/3をそれぞれ減免します。

（2）京都大学が実施する授業料等免除

※原則、令和2年度以降の学部学生への授業料等免除は、（1）によることとなります。授業料等免除を希望し、日本学生支援機構（JASSO）の給付奨学金の支援対象者の要件（基準）に合致する方は、必ず給付奨学金への申請を行ってください。本制度は（1）で十分な免除を受けることができない方を救済するための制度であり、本制度に単独で申請することはできません。

入学料や授業料の納付が困難な学生に対して、選考のうえ、入学料の徴収の猶予や入学料・授業料の全額または半額を免除する制度があります。

3. 日本学生支援機構（JASSO）奨学金及びその他の奨学金（民間団体と地方公共団体）

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生には、日本学生支援機構及び民間奨学団体等による奨学金の給付・貸与制度があります。

（1）日本学生支援機構（JASSO）奨学金

①給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）

支給金額は、次のとおりです。（令和6年12月現在）

自宅通学	第Ⅰ区分	29,200円（33,300円）
	第Ⅱ区分	19,500円（22,200円）
	第Ⅲ区分	9,800円（11,100円）
	第Ⅳ区分	7,300円（8,400円）
自宅外通学	第Ⅰ区分	66,700円
	第Ⅱ区分	44,500円
	第Ⅲ区分	22,300円
	第Ⅳ区分	16,700円

※生活保護世帯（受けている扶助の種類を問いません。）で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

②貸与奨学金

奨学金の種類と貸与月額、次のとおりです。（令和6年12月現在）

- ・ 第一種奨学金（無利子）
 - 自宅通学 20,000円、30,000円、45,000円から選択
 - 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択
（最高月額には家計基準あり）
- ※①の給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、併給調整として貸与を受けられる月額の上限額が制限されますので注意してください。
- ・ 第二種奨学金（有利子）
 - 20,000円～120,000円（1万円単位で希望する月額を選択）

◇入学時特別増額貸与奨学金（有利子）

大学の第1学年において、希望により、第一種・第二種奨学金の初回振込み時に、一時金として10万円～50万円を増額して貸与されます。この制度は、一定の収入金額以下の場合、または日本政策金融公庫〔国の教育ローン〕を申し込んで、貸付を受けることができなかった場合に申し込めます。

③申込方法・手続き

入学の前年度に日本学生支援機構奨学生の採用候補者に内定している場合を含めて日本学生支援機構奨学金の申込方法・手続きについては「入学案内」及び本学Webサイト（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/syogaku>）において3月中旬～下旬頃に通知します。

(2) その他の奨学金（民間団体と地方公共団体）

日本学生支援機構奨学金のほか、教育推進・学生支援部学生課奨学掛では、地方公共団体、民間団体合わせて約90団体の奨学金を取り扱っています。詳細については、「入学案内」等により通知します。

4. その他の経済支援

学資負担者が亡くなられた場合や災害により被災した場合などの緊急時に一時金を給付する制度や、急な出費の場合に無利子の貸付を行う制度については、以下の本学Webサイトをご覧ください。

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/sonota.html>



5. その他の修学案内（関連サイト一覧）

◎学生保険

本学 Web サイト

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Insurance>



大学生協 Web サイト

（学生総合共済）

https://www.s-coop.net/service/stu_insurance/mutual/



（学生賠償責任保険）

https://www.s-coop.net/service/stu_insurance/mandatory/



◎学生寄宿舍

本学 Web サイト

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Life>

教育推進・学生支援部厚生課厚生掛（TEL：075-753-2533）



◎マンション・アパート等、福利厚生施設（食堂・購買・教科書購入等）

京都大学生生活協同組合 Web サイト

<https://www.s-coop.net>

TEL：075-771-0823（マンション・アパート等）

075-753-7640（福利厚生施設 食堂・購買・教科書購入等）



◎就職支援

キャリアサポートセンター

<https://www.career.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>



◎学生相談、障害学生支援

学生総合支援機構

<https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/>



◎課外活動

本学 Web サイト

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/support>



◎図書館

図書館機構

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



◎情報環境

本学 Web サイト

<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/>



◎教育職員免許状

本学 Web サイト

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/teaching>



◎CAP制

「CAP制」とは1学期で履修登録できる授業科目の単位数の上限を設定する制度です。本学では令和2年度入学者より全学部で導入しています。

学習用ノートパソコンおよびインターネット環境の準備について

入学後は、授業でのパソコンの活用を始め、自宅やその他の場所など、様々な場面でノートパソコンとインターネットを利用することが必要となります。

入学の際には、ノートパソコンを準備していただくこととなりますので、あらかじめお知らせします。

ノートパソコンの推奨仕様や通信環境の詳細については、入学案内に記載しますので、必ずご確認ください。

【京都大学構内図】

(吉田キャンパス)

◎ 各学部教務掛等所在地

- ① 農学部
- ② 理学部
- ③ 文学部
- ④ 教育学部
- ⑤ 法学部
- ⑥ 経済学部
- ⑦ 工学部
- ⑧ 総合人間学部
- ⑨ 医学部医学科、
医学部人間健康科学科
- ⑩ 薬学部
- ◆ 教育推進・学生支援部入試企画課



乗換 (電車・バス・徒歩) 等案内

主要鉄道駅	乗車バス停	市バス系統	行	先	下車バス停
京阪本線 出町柳駅	文・教育・法・経済・工は当駅下車、東へ徒歩約15分			総合人間・理・農は徒歩約20分	
京阪本線 神宮丸太町駅	医・薬は当駅下車、北東へ徒歩約10分				
地下鉄東西線 三条京阪駅	地下鉄東西線「三条京阪駅」にて京阪本線「三条駅」に乗換可(地下連絡通路を通じて徒歩約5分) ※京阪本線出町柳駅(三条駅から約3分、終点)または神宮丸太町駅下車後徒歩(上記参照)				
阪急京都線 京都河原町駅	阪急京都線「京都河原町駅」にて京阪本線「祇園四条駅」に乗換可(東改札口→出口1より四条大橋を渡り徒歩約5分) ※京阪本線出町柳駅(祇園四条駅から約5分、終点)または神宮丸太町駅下車後徒歩(上記参照)				
	四條河原町E	201系統	「祇園 百万遍」行		「京大正門前」又は「百万遍」 医・薬は「近衛通」
		31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行		
	四條河原町G	3系統	「出町柳駅 百万遍 北白川仕伏町(上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前)」行		「百万遍」薬は「荒神口」
		7系統	「出町柳駅 百万遍 銀閣寺」行		「百万遍」理・農は「京大農学部前」薬は「荒神口」
京都駅 (JR・近鉄)	JR奈良線「東福寺駅」(JR京都駅より約3分、全列車停車)にて、京阪本線への乗換可 ※京阪本線出町柳駅(東福寺から約12分、終点)または神宮丸太町駅下車後徒歩(上記参照)				
	京都駅前 (鳥丸口)D	206系統	「三十三間堂 清水寺 祇園・北大路バスターミナル」行		「京大正門前」又は「百万遍」医・薬は「近衛通」
	京都駅前 (鳥丸口)A	7系統	「四條河原町・銀閣寺」行		「百万遍」理・農は「京大農学部前」薬は「荒神口」
	八条 E1	—	循環路線バス「hoop」		「京都大学前」

※ 京都駅前および四條河原町のバス停にはのりば表記を行っています。

※ 停車駅、バス停等は、変更となる可能性がありますので、詳しくは、各バス・鉄道会社等にお問い合わせください。

問い合わせは、志願者本人が行ってください。

京都大学 Web サイト <https://www.kyoto-u.ac.jp/>

【 問 い 合 わ せ 先 】

各学部教務担当

学 部	担当掛	電話番号	住 所
総合人間学部	教 務 掛	075-753-6506	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
文 学 部	第一教務掛	075-753-2809	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
教 育 学 部	教 務 掛	075-753-3010	
法 学 部	教 務 掛	075-753-3107	
経 済 学 部	教 務 掛	075-753-3406	
理 学 部	学部教務掛	075-753-3616	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
医学部医学科	学部教務掛	075-753-4325	〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
医学部人間健康科学科	人間健康教務掛	075-753-9313	
薬 学 部	教 務 掛	075-753-4514	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
工 学 部	教 務 掛	075-753-5039	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
農 学 部	学部教務掛	075-753-6012	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

入学試験関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部入試企画課入試第一掛	075-753-2521	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

入学料・授業料免除、奨学金関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部学生課奨学掛	075-753-2536	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

学生寄宿舍関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部厚生課厚生掛	075-753-2533	〒606-8501 京都市左京区吉田本町